

2025

한일문화미래컨퍼런스

문화예술로 지역을 연결하다

국제심포지움

韓日文化未来コンファレンス

文化芸術で地域をつなぐ

国際シンポジウム

Contents

국제심포지움

2025 한일문화미래컨퍼런스
문화예술로 지역을 연결하다

국제심포지움

2025 韓日文化未来カンファレンス
文化芸術で地域をつなぐ

기조강연

기타가와 후라무 (세토우치 국제예술제 종합디렉터)
예술은 지역을 어떻게 변화시키는가

基調講演

北川フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)
基調演説 芸術は地域をどのように変化させるか

발제

- **조정윤**
(부산문화재단 문화시민본부장)
사회참여예술의 관점에서 본 문화예술을 통한 사회 변화
- **노다 쿠니히로**
(요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수)
예술이 도시를 움직일 때 ~ 요코하마의 도시 형성과 문화
- **호소부치 타마키**
(BankART1929 대표)
예술이 도시를 움직일 때
- **요시모토 미츠히로**
(합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄)
예술과 문화를 통한 신뢰 구축과 국제 평화
- **한경구**
(전 유네스코한국위원회 사무총장)
세계가 기억하는 평화와 연대
| 조선통신사, 예술로 경계를 넘고 연결하다
| 유네스코와 문화인류학의 시점
- **홍순재 / 강원춘**
(국립해양유산연구소 학예연구사)
세계가 기억하는 평화와 연대
| 조선통신사선 재현과 261년만의 오사카 입항

發題

- **조·조·조·조·조**
(釜山文化財團 文化市民本部長)
社会的関与型アートの枠組みにおける、韓国と日本の
文化的・芸術的実践と社会変革の推進力
- **野田邦弘**
(横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授)
芸術が都市を動かすとき~横浜の都市形成と文化
- **細淵太麻紀**
(BankART1929 代表)
芸術が都市を動かす時
- **吉本 光宏**
(合同会社文化コモンズ研究所代表・研究統括)
芸術文化を通じて築く信頼と国際平和
- **한·깡·깡**
(前ユネスコ韓国委員会事務総長)
世界が記憶する平和と連帯
| 朝鮮通信使、芸術で境界を越えつなぐ
| 유네스코와 文化人類학의 視點
- **혼·스즈제 / 칸·웡·츄·츄**
(国立海洋遺産研究所 学芸研究士)
世界が記憶する平和と連帯
| 朝鮮通信使船の再現と、261年ぶりの大阪入港

Program

국제심포지움

2025 한일문화미래컨퍼런스
문화예술로 지역을 연결하다

国際シンポジウム

2025 韓日文化未来カンファレンス
文化芸術で地域をつなぐ

| 구분 | 내용 | 참가자 및 발제자 |
|---|--|---|
| 11:00 ~ 11:05 | '5 행사안내 | |
| 11:05 ~ 11:15 | '10 축하공연 | |
| 11:15 ~ 11:20 | '5 개회사(영상) |  오재환 부산문화재단 대표이사 |
| 11:20 ~ 11:35 | '15 축사 |  마치다 카즈토 등 조선통신사연지연락협의회 이사장 |
| 11:35 ~ 11:50 | '15 개회 세레머니 및 사진촬영 | 주요내빈 |
| 13:30 ~ 14:00 | '30 기조강연 예술은 지역을 어떻게 변화시키나 |  기타가와 후라무 세토우치 국제예술제 종합 디렉터 |
| 세션1 예술, 변화를 심는 시간 : 문화예술 활동으로 나타난 변화와 지속성 | | |
| 14:00 ~ 14:30 | '30 발제1 사회참여예술의 관점에서 본 문화예술을 통한 사회 변화 |  조정운 부산문화재단 문화시민본부장 |
| 14:30 ~ 15:15 | '30 발제2, 3 예술이 도시를 움직일 때 |  노다 쿠니히로 요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수 |
| | '15 발제4 예술이 도시를 움직일 때 |  호소부치 타마키 뱅크아트1929 대표 |
| 15:15 ~ 15:30 | '15 휴식 | |
| 세션2 지역을 연결하는 예술의 언어: 예술을 매개로 지역 간, 세대 간, 문화 간 관계가 연결된 사례 | | |
| 15:30 ~ 16:00 | '30 발제4 예술로 구축하는 신뢰 |  요시모토 미츠히로 합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄 |
| 16:00 ~ 16:45 | '15 발제5, 6 세계가 기억하는 평화와 연대 |  한경구 전 유네스코한국위원회 사무총장  홍순재 / 강원춘 국립해양유산연구소 학예연구사 |
| 16:45 ~ 17:45 | '60 종합토론 및 질의응답 | 발제자 전원 |
| 17:45 ~ 18:00 | '15 휴식 | |
| 18:00 ~ 19:00 | '60 예술인 토크콘서트 <영혼이 오가는 길> | 참여자 ①  이은혜 (활동명: 노만 / 시각예술가) ②  후루카와 미카 (미술연구자) |
| 19:00 ~ 21:00 | '120 리셉션(벙컷) | 참여자 전원 |
| 21:00 ~ | 클로징 | |

Program

국제심포지움

2025 한일문화미래컨퍼런스
문화예술로 지역을 연결하다

국제シンポジウム

2025 韓日文化未来カンファレンス
文化芸術で地域をつなぐ

| 区分 | 内容 | 参加者 および 発題者 |
|--|---|---|
| 11:00 ~ 11:05 | '5 行事案内 | |
| 11:05 ~ 11:15 | '10 祝賀公演 | |
| 11:15 ~ 11:20 | '5 開会の辞(映像) |  オ・ジェファン 釜山文化財団 代表理事 |
| 11:20 ~ 11:35 | '15 祝辞 |  町田一仁 など 朝鮮通信使 縁地連絡協議会 理事長 |
| 11:35 ~ 11:50 | '15 開会セレモニーおよび写真撮影 | 主要関係者 |
| 13:30 ~ 14:00 | '30 基調演説 芸術は地域をどのように変化させるか |  北川フラム 瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター |
| セッション1 芸術、変化を植える時間：「文化芸術活動による変化と持続性」 | | |
| 14:00 ~ 14:30 | '30 発題1 社会的関与型アートの枠組みにおける、 韓国と日本の文化的・芸術的実践と社会変革の 推進力 |  ジョ・ジョンユン 釜山文化財団 文化市民本部長 |
| 14:30 ~ 15:15 | '30 発題2, 3 芸術が都市を動かす時 |  野田邦弘 横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授 |
| | '15 発題2, 3 芸術が都市を動かす時 |  細淵太麻紀 BankART1929 代表 |
| 15:15 ~ 15:30 | '15 休憩 | |
| セッション2 地域を繋ぐ芸術の言語：「芸術を媒介に地域間、世代間、文化間関係が繋いだ事例」 | | |
| 15:30 ~ 16:00 | '30 発題4 芸術を通じて築く信頼 |  吉本 光宏 合同会社文化commons研究所代表・研究統括 |
| 16:00 ~ 16:45 | '15 発題5, 6 世界が記憶する平和と連帯 |  ハン・キョング 前ユネスコ韓国委員会事務総長 |
| | '15 発題5, 6 世界が記憶する平和と連帯 |  ホン・スンジェ / カン・ウォンチュン 国立海洋遺産研究所 学芸研究士 |
| 16:45 ~ 17:45 | '60 総合討論及び質疑応答 | パネリスト全員 |
| 17:45 ~ 18:00 | '15 休憩 | |
| 18:00 ~ 19:00 | '60 芸術家によるトークイベント <魂の行き来する道筋> | 参加者 ①  イ・ウンヘ (活動名: ロ・マン / 視覚芸術家) ②  古川美佳 (美術研究者) |
| 19:00 ~ 21:00 | '120 レセプション(バンケット) | 参加者 全員 |
| 21:00 ~ | クロージング | |

• 기조강연 基調講演

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술은 지역을 어떻게 변화시키는가 基調演說 芸術は地域をどのように変化させるか

기타가와 후리무 (세토우치 국제예술제 종합디렉터)

北川フラム (瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター)



Profile

세토우치 국제예술제 종합디렉터
瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター

아트 디렉터 및 아트프린트 갤러리 대표
アートディレクター。アートフロントギャラリー代表



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BANKART 1929 FOUNDATION

협력協力: BankART 1929

文化芸術で地域をつなぐ
「韓日文化未来コンファレンス」

2025/9/26
北川フラム

韓国とのかかわり

1973年 東京藝術大学在学中に、水野敬三郎（仏教美術史）らによる韓国古美術研修旅行に参加
軍政下の韓国の「国展」や日本の植民地下の略奪美術品について仲間と調査

1998年 世界人権宣言 50周年記念川崎市文化事業「いのちの響き〜アートの祝祭」参加。

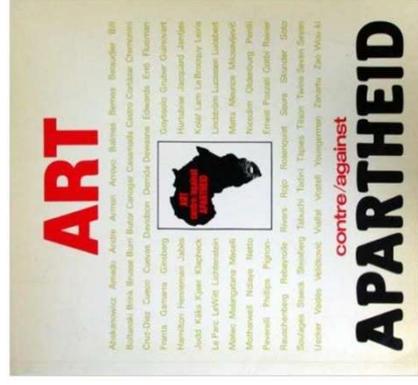
■日本軍慰安婦や光州抗争を描いた富山妙子・洪成潭展「FROM THE ASIANS 5月光州から世界へ」光州市で開催された富山妙子展の開催を手伝う



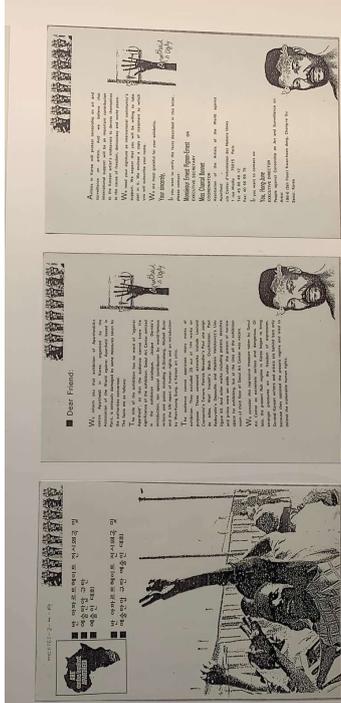
■かわさき市民アカデミー連続講座「東アジアの芸術文化を考える」を企画
講師：水野敬三郎（仏教美術史）
南永昌（朝鮮美術品略奪問題）他

■「革命の芸術が減じた時代に芸術家は何を考えるか」開催
パネリスト：富山妙子、作曲家・高橋悠治、作家・島田雅彦、編集者・太田昌国
コーディネーター：北川フラム

1991年 ユネスコを中心に組織された「アパルトヘイト否！国際美術展」
@ ソウル 芸術殿堂での開催をコーディネート



「Art against Apartheid」は、検閲により、いくつかの作品がソウル展から撤去され、デリダの著作もカタログから削除されたことが、パレスチナとレバノンのキュレターによる「Past Disquiet」（世界中のアーティストたちの連帯によって生み出された展覧会のアーカイブ展）で明らかにする。（世界中の政府による検閲に抗議し、連帯を呼びかける韓国のアーティストたちからの手紙。



2005年 第1回 「安養パブリックアートプロジェクト」ディレクター
第3回 「ヨーロッパ・アジア・パシフィック建築の新潮流」安養展をコーディネート



安養パブリックアート(APAP)のオープニングセレモニーには1000人以上が集まった。「建築の新潮流」はAPAPの一期として開催された。開会のあいさつをする安養市長。



開業会場となった安養文化芸術センター。展示計画はAPAPディレクター、リー・ヨン Chol 氏による。

The tears of the fish are falling in the water by Honore d'O



Walkway by Elastico



Discovery by Jean-Luc Vilmouth



Mistfit Tower by Didier Fuzza Faustino



Elements House (樹・水・火・風) by Sami Rimola



Okwa Muc: Suet for Ala, by Olu Ogube



Door to Nirvana by Myung Sup Hong



Linear Building up in the Trees by Acconci Studio (Wito Acconci)

2009年大地の芸術祭にて開催

「アジアを抱いて」雷山妙子の全仕事展 1950～2009

戦後から今日まで応対問題、戦争責任、第三世界などをテーマに制作してきた作家の60年にわたる画業を一挙に振り返る回顧展。



Team BankART Setouchi | 『続・朝鮮通信使プロジェクト』 瀬戸内国際芸術祭2010



続・朝鮮通信史 プロジェクト Team BankART Tongshinsa 瀬戸内国際芸術祭2016



続・朝鮮通信史 プロジェクト Team BankART Tongshinsa 瀬戸内国際芸術祭2016



シンポジウム「日韓交流の新しい可能性part2~朝鮮通信使を起点に~ @十日町 2015年8月



パネラー
 チャ・ジェグン
 (京畿文化財団文化芸術本部 本部長)
 仲尾 宏
 (京都造形芸術大学 客員教授)
 三宅理一
 (慶女子大学 副学長)
 池田 修
 (BankART1929 代表)
 北川フラム
 (大地の芸術祭 総合ディレクター)

「地域を基盤とした公共美術プロジェクト」講演 2016年12月 @甘川文化村コミュニティセンター
パネラー：ベク・ヨンジュン (東明大学) ク・ボンホ (TLキャリアリー) シン・ヨンファ (アートファクトリーB)



私たちが取り組んでいる芸術祭

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

越後妻有 大地の芸術祭



- 開催地域：新潟県越後妻有地域 (十日町市、津南町) = 総面積760km²
- 2000年から3年毎に開催 (2024年で9回目)



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

大地の芸術祭 10の思想

- アートは地域を発見する — 地元が地域に誇りをもつ
- 人間は自然に内包される
- 他者の土地にもものをつくる
- あるものを活かし新しい価値をつくる — 死者の声、他者の声をさく
- アートを道しるべに里山をめぐる旅
- 地域・世代・ジャンルを超えた協働
- 公共事業のアート化
- ユニークな拠点施設
- 生活芸術
- 世界各地と繋がる

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

アートは地域を発見する
—地元が地域に誇りをもつ

内海昭子(日本)
「たくさんの失われた窓のために」(2006)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

人間は自然に内包される

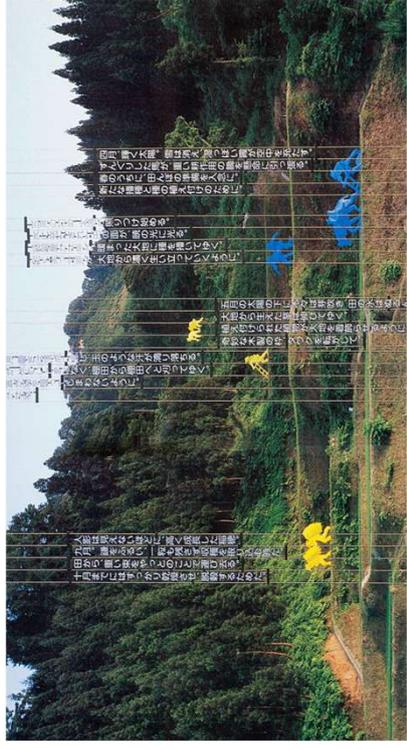
磯辺行久(日本)
「川はどこへいった」(2000)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる

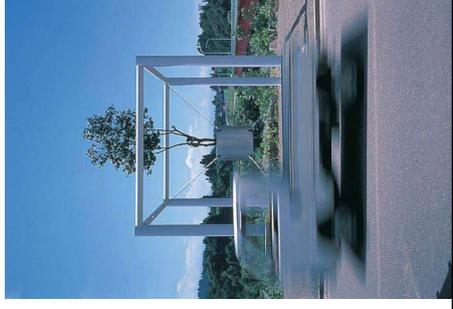
イリヤ&エミア・カバコフ(旧ソ連/アメリカ)
「棚田」2000



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる

ホン・スン・ド(韓国)
「妻有で育つ木」(2000年)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

他者の土地にもものをつくる

ク・ジュンガ (韓国)
「バンドラスホープ (B.L.に捧ぐ)」 (2000年)



他者の土地にもものをつくる

キム・クーハン (韓国)
「かささぎたちの家」 (2003年)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

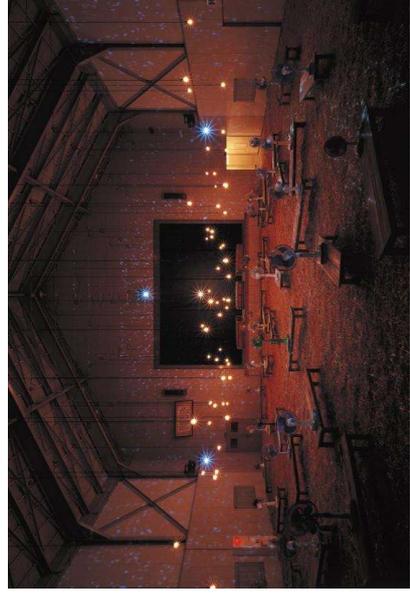
他者の土地にもものをつくる

イ・ジェヒョ (李在孝)
「0121-1110=109071」 (2009年)



あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く

クリスチャン・ポルタンスキュー＋
ジャン・カルマン (フランス)
「最後の教室」 (2006)



ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く



緒&田島征三(日本)
「絵本と木の美の美術館」
(2009,2022)

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く



イ・ブル(韓国)
「ドクターズ・ハウス」(2015)

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く



カン・アイルン(韓国)
「天の光、知の光-II」(2009年)

ECHIGO-
TSUMARI
ART FIELD

あるものを活かし新しい価値をつくる
—死者の声、他者の声を聞く



イー・スンギョン(韓国)
「最もよい彫刻」
(2006年 ※公開終了)

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

アートを道しるべに里山をめぐる旅

マ・ヤンソン/MADアーキテクト(中国)
「Tunnel of Light」(2018)
Photo by Osamu Nakamura



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

地域・世代・ジャンルを超えた協働

ナウイン・ラウンチャイクン+
ナウインプロダクション(タイ/日本)
「赤書の字室」(2015,2022)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

公共事業のアート化

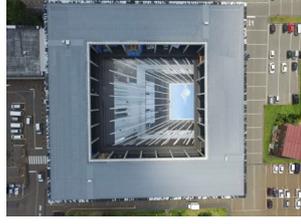
カサグランデ&リントラー建築事務所(フィンランド)
「ボチヨムキン」(2003)



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

ユニークな拠点施設

越後妻有里山現代美術館 Monet (モネ)
設計=原広司+アトリエ・ファイ建築研究所
(日本)

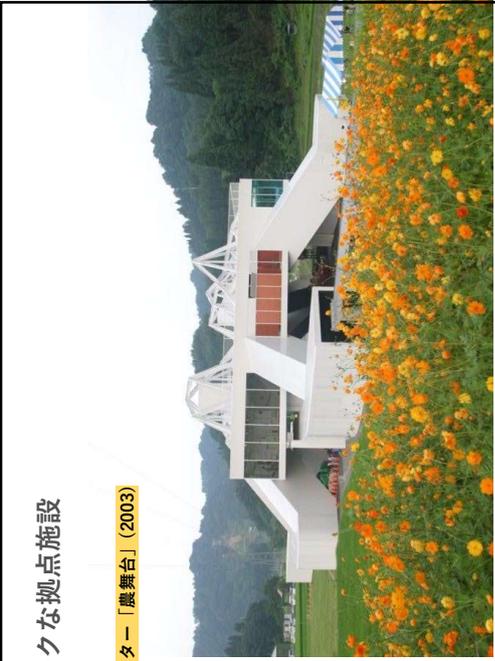


撮影：株式会社丸山工務所

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

ユニークな拠点施設

まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」(2003)
設計 = MVRDV(オランダ)




ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

ユニークな拠点施設

まつだい雪国農耕文化村センター「農舞台」




イリヤ&エミリア・カバコフ (旧ソ連)
「手をたずさえる塔」 「手をたずさえる船」

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

ユニークな拠点施設

松代城




エステル・ストックカー(イタリア)「憧れの眺望」(2021)

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

ユニークな拠点施設

十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」キヨロ口




橋本典久 + scope (日本)
「ZooMuSee」(2022)

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

ユニークな拠点施設

奴奈川キャンパス
(旧奴奈川小学校)



松本秋則 + 松本倫子
(日本)
「惑星トラリス in 奴奈川キャンパス」
2024



関口光太郎 (日本)
「除雪式奴奈川姫」
2024



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

生活芸術

うぶすなの家(2006)
改修設計 = 安藤邦廣



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

生活芸術



農舞台「越後まつだい里山食堂」

食の展開



ジャン=リュック・ヴィルムート (フランス)
「カフェ・ルフレ」 (2003)

ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

世界各地と繋がる

香港ハウス(2018)

建築基本設計 = イップ・チュンハン [漢晋亭]



アナザーマウンテンマン [又一山人] (香港)
「自然。対話。」 (2022)



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

世界各地と繋がる

オーストラリア・ハウス

設計=アンドリュー・バーンズ・アーキテクト (オーストラリア)



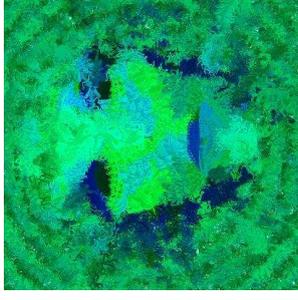
エレナ・ノックス(オーストラリア)
「あざらし話」



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

世界各地と繋がる

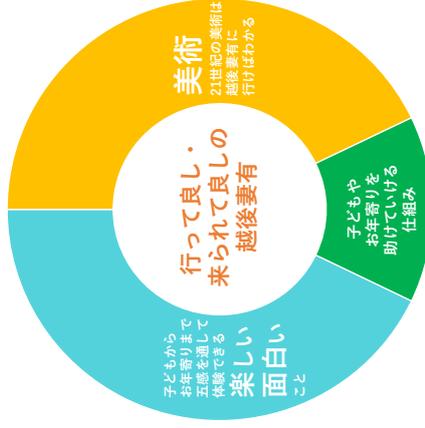
中国ハウス



ウー・ケンアン (鄭建安) (中国)
「心・顔」 2022/「五百華」 (2018)

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

これからの大地の芸術祭でやっていきたいこと



地域との丁寧な打合せ・意見交換



美術の新体験・五感を使った体験



ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

ツアー型の芸術祭 — 観光から感幸へ —

地元の喜びとなることをする

地元・新潟県の産業へつなげる

より深く地域に入る

ECHIGO-TSUMARI ART FIELD

サポーター組織「こへび隊」

- 2000年「大地の芸術祭」の誕生と同時に発足したサポーターチーム
- 「ボランティア」ではなく「サポーター」であり「こへび隊」 私たちの学校／学びの場であるという意識を持っている
- 作品制作やメンテナンス、受付など、2000年から重要な役割を担ってきた、

芸術祭に参加した韓国のアーティスト

中房総国際芸術祭 いちはらアート×ミックス2014 2014.3.21-5.11

カン・ユンス 「市原人生劇場」 「オバケノガッコウヘキテクダサイ」

房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020+ 2021.11.19-12.26

キム・テボン 「ドリーム・キャッチャー」

内房総アートフェス 百年後芸術祭 2024.3.23-5.26

イ・ビョンチャン 「クリーチャー2024」

キム・テボン 「SKY EXCAVATOR」

チョ・ウンピル 「私の青」

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

奥能登国際芸術祭2017 2017.9.3-10.22

ギム・ホンソック 「善でも悪でもないキオスク」



奥能登国際芸術祭2020+ 2021.9.4-11.5



キム・スージー
「息づかい：珠洲」2021



ムン・キョンオン&ジョン・ジョンホ
「再会」

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」

北アルプス国際芸術祭2020-2021 2021.10.2-11.21



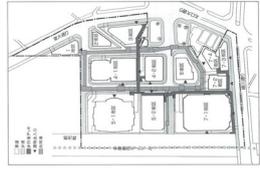
リー・ホンボ 「源流」

北アルプス国際芸術祭2024 2024.9.13-11.4



ソ・ミンジョン 「黒い跡」

ファレ立川 1994年 完成



JR立川駅北口の米軍基地跡地の再開発により整備されたエリア。東京都立川市中心市街地にある敷地5.9ヘクタールにシヨッピングセンターやオフィスビル、映画館など11棟が建っているほか、パブリックアートとして36か国92人109点の作品が屋外展示されている。

アート計画のコンセプト

- ① 世界を映す街
- ② 機能(ファンクシヨ)を美術(ワイクシヨ)に!
- ③ 驚きと発見の街



沈文燮/シン・ムン・サップ (韓国)

瀬戸内国際芸術祭

- 開催地域：香川県・岡山県
瀬戸内海の島々と沿岸部の全17エリア
- 2010年から3年毎に開催 (2025年で6回目)



瀬戸内国際芸術祭 2025

春会期 | 4月18日(金)-5月25日(日)
夏会期 | 8月1日(金)-8月31日(日)
秋会期 | 10月3日(金)-11月9日(日)

会場:

全会期：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港周辺、宇野港周辺

春会期のみ：瀬戸大橋周辺
夏会期のみ：志度・津田周辺、引田周辺
秋会期のみ：本島、高見島、粟島、伊吹島、宇多津周辺



芸術祭の出発点

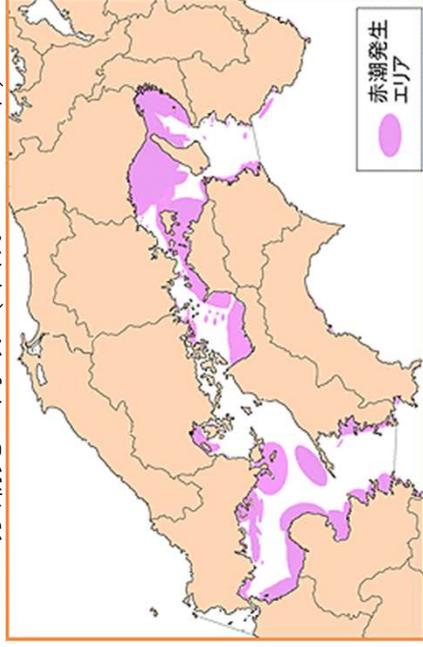
高度経済成長と島の衰退

瀬戸内海の島々の衰退

高度経済成長期 ～海から陸へ～



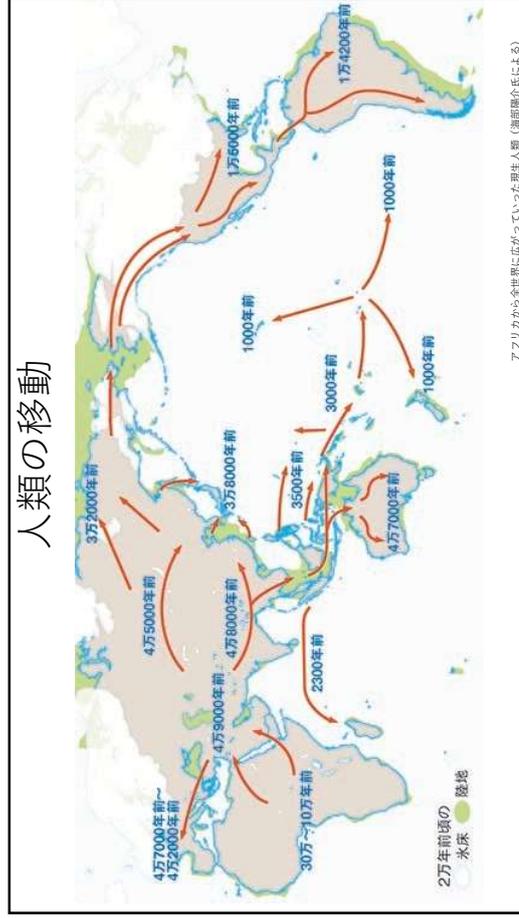
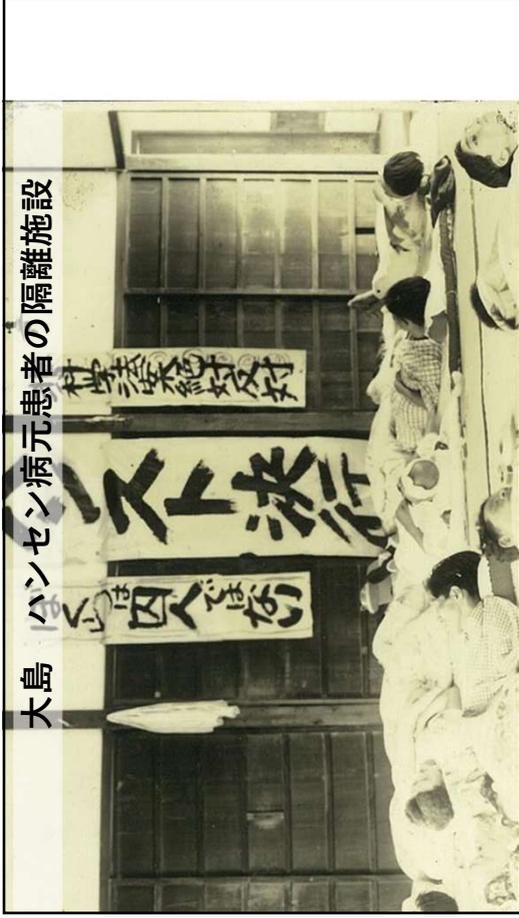
赤潮発生海域（平成18～20年）



出典：瀬戸内海の環境データベース（国土交通省中国地方整備局瀬戸内海環境部環境課・提供）

豊島 産業廃棄物の不法投棄問題





アフリカから全世界に広がっていった原始人類 (海田隆夫氏による)



日本初の国立公園に指定（1934年）



BE T O U C H I
T R I E N A L E
2 0 2 5

瀬戸内国際芸術祭

海の復権

1. アート・建築
— 地域と時間と住民（島のお年寄りたちの元氣）
2. 民俗・生活
— 地域と時間と住民（島のお年寄りたちの元氣）
3. 交流
— 日本全国・世界各地の人々に関わる
4. 世界の叡智が集う
5. 次代を担う若者や子どもたちへ
6. 縁をつくる

BE T O U C H I
T R I E N A L E
2 0 2 5

瀬戸内国際芸術祭 2025 Setouchi Triennale 2025
瀬戸内国際芸術祭 2025 Setouchi Triennale 2025
瀬戸内国際芸術祭 2025 Setouchi Triennale 2025

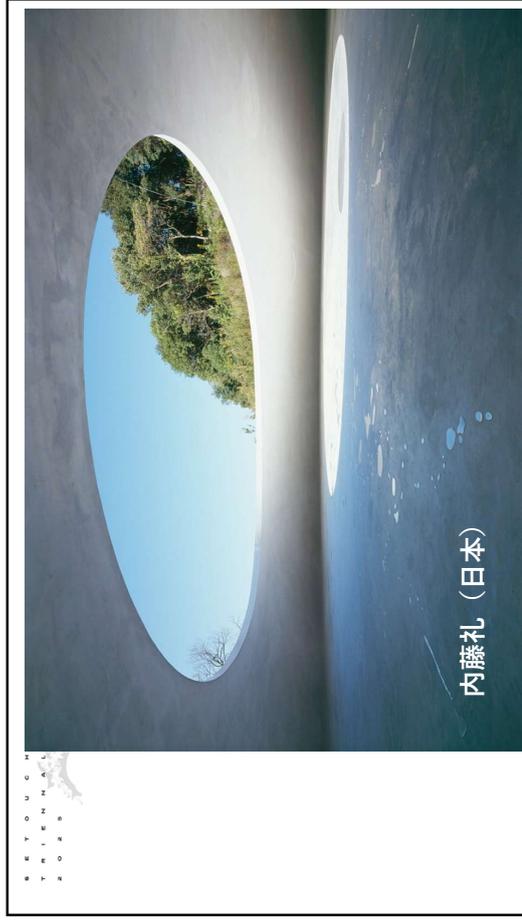
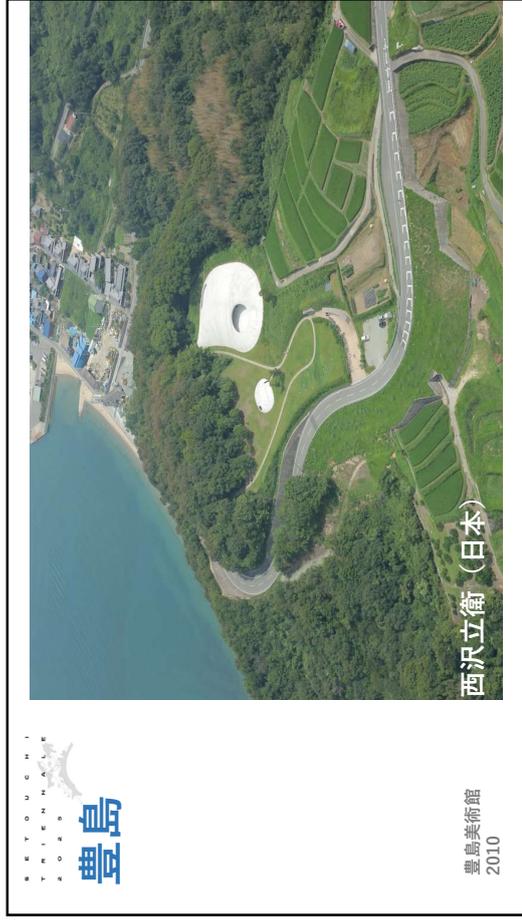
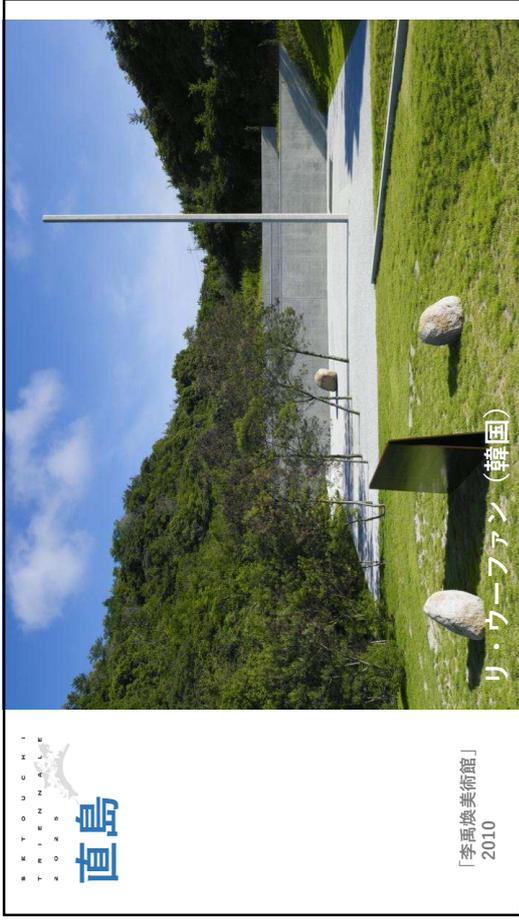
2025参加アーティスト・作品数

| | 2025 | 2022 | 2019 |
|------------|----------------|------|------|
| 作品 | 256 7プロジェクト | 213 | 214 |
| イベント作品 | 20 | 19 | 35 |
| 参加作家・団体（組） | 218 | 188 | 230 |
| 参加する国と地域 | 37 + UNHCR | 33 | 32 |

2025 韓日문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

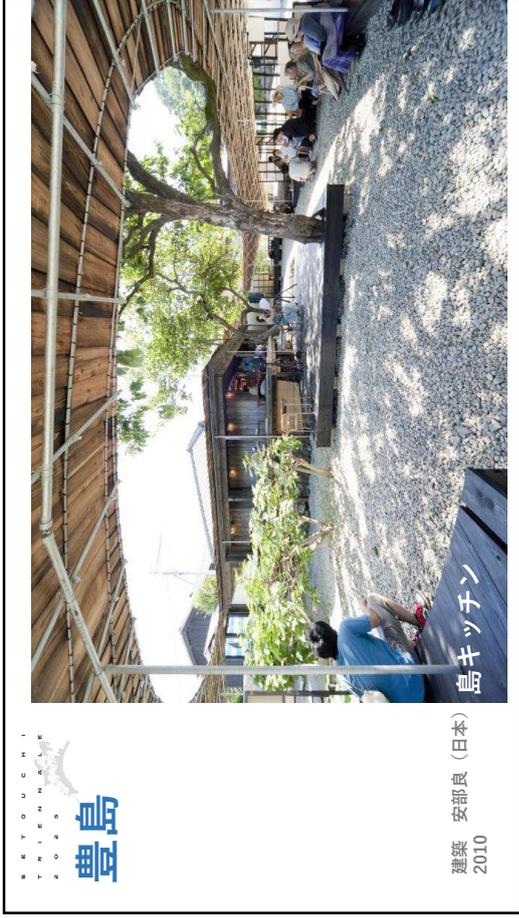


2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

2025 韓日文化未來カンファレンス
「国際シンポジウム」



豊島

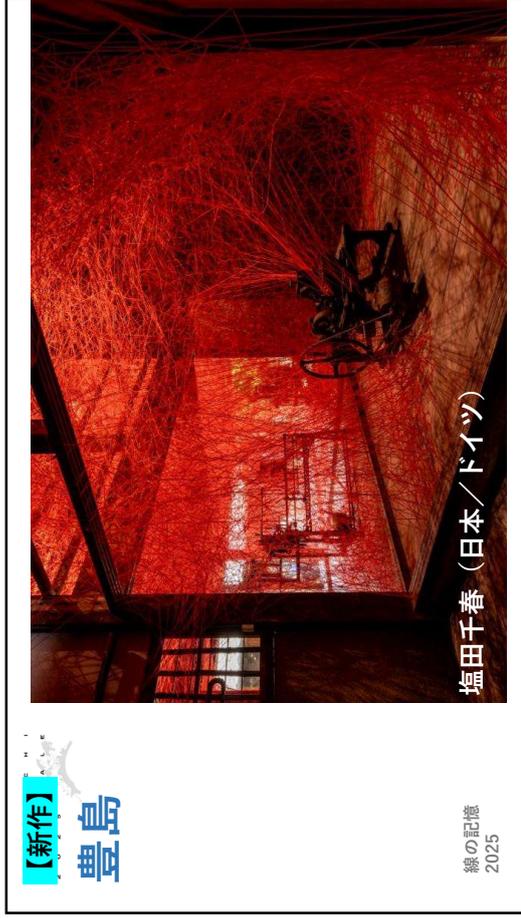
建築 安部良 (日本)
2010

豊島

ささやきの森
2016



クリスチャン・ホルタンスキー
(フランス)



豊島

織の記憶
2025

塩田千春 (日本/ドイツ)



豊島

国境を越えて・折り
2025

リン・シュンロン (台湾)

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

2025 韓日文化未來カンファレンス
「国際シンポジウム」



BEYOND THE
TRIENNALE
2025

大島

Nさんの人生・
大島七十年
2019

田島征三 (日本)

つなかりの家
GALLERY15
海のごだま
2013

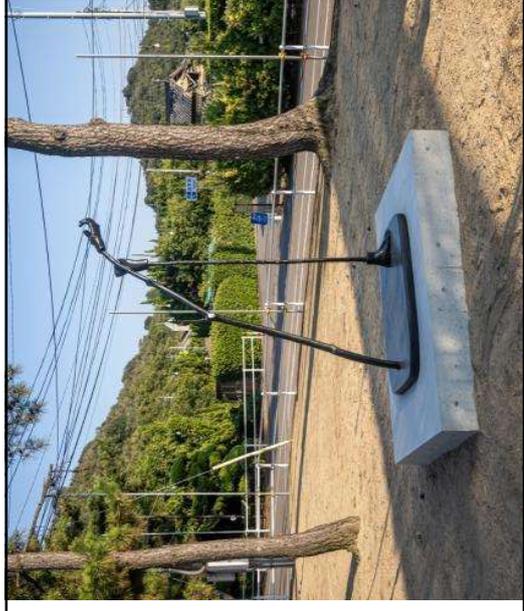


BEYOND THE
TRIENNALE
2025

大島

つなかりの家
GALLERY15
海のごだま
2013

やさしい美術プロジェクト (日本)



【新作】

大島
大島青松園

ニキータ・カダン (ウクライナ)
「安えあうことのもにゅめんと」
2025

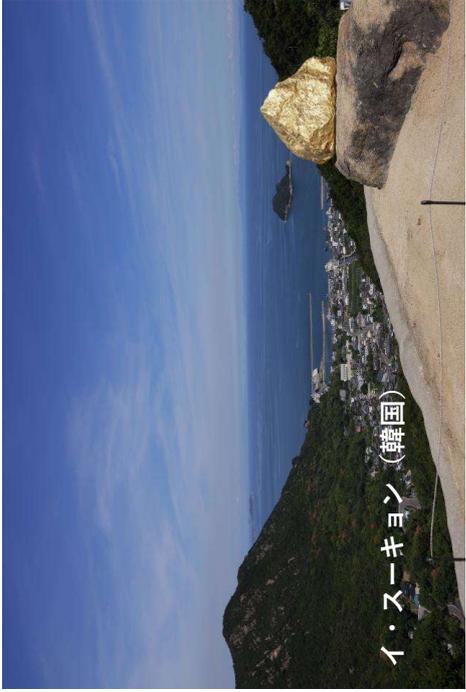


小豆島

「太陽の贈り物」 2013

チェ・ジョンファ (韓国)

小豆島



「そこにいた」 2022

イ・スーキョン (韓国)

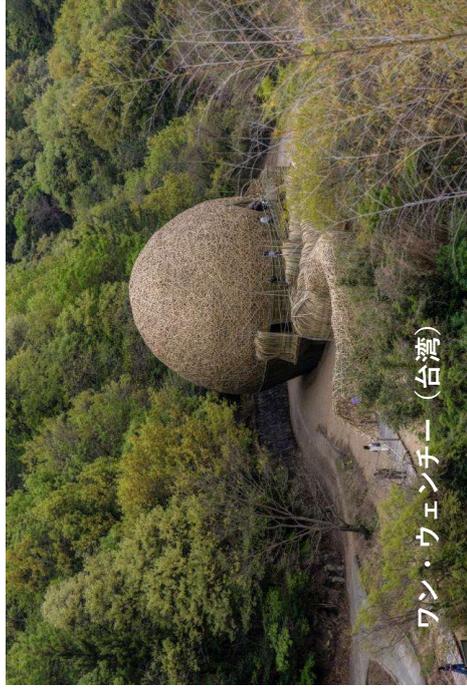
小豆島



「再び・・・」 2019

キム・キョミン (韓国)

【新作】 小豆島



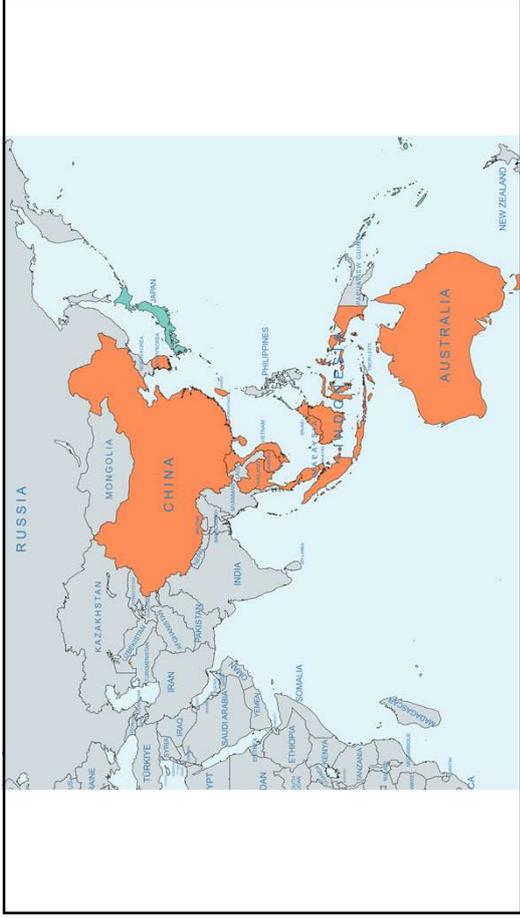
抱擁・小豆島
2025

ワン・ウェンチー (台湾)

【新作】 小豆島



瀬戸内アジアギャラリー



【新作】
小豆島
瀬戸内アジアギャラリー

CREATURE 2025
2025

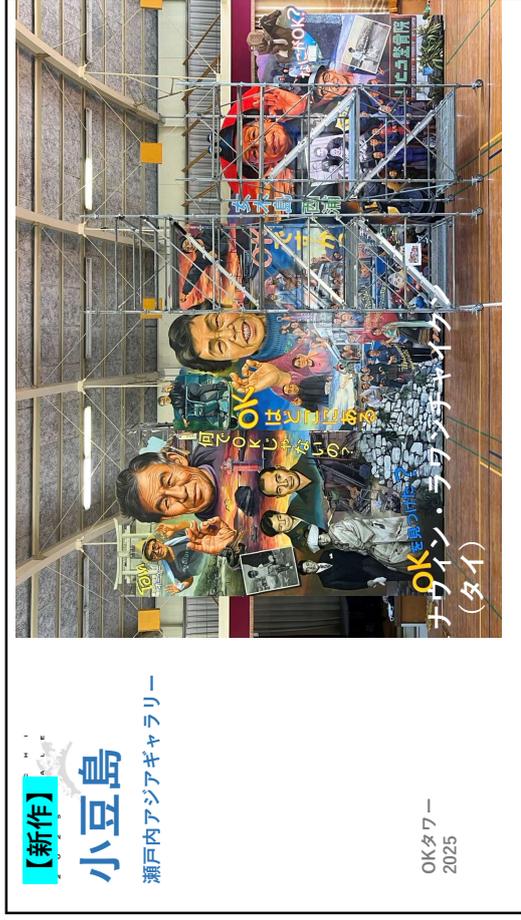
イ・ビョンチャン (韓国)



【新作】
小豆島
瀬戸内アジアギャラリー

風でつながるコミュニティ
2025

安田葉 (日本/インドネシア)



【新作】
小豆島
瀬戸内アジアギャラリー

OKタワー
2025

ナイン・ライオン・スクエア
(タイ)

【新作】

高松港

ベトナムプロジェクト

8月1日～31日

現在、日本に喜ばずベトナム人は60万人を超え、中国に次ぎ在留外国人第2位。日本にとってもっとも関係の深い国のひとつとなったベトナムにフォーカスし、工芸、デザイン、食、アート、様々なジャンルの文化・芸術を通して、ベトナムの多様な魅力と人々のエネルギーを伝え、来訪者との交流を図る。

8/8には、シンポジウムも開催。



Cộng Moments

～食と手仕事と雑貨のベトナムマルシェ～

ベトナムの工芸、雑貨、食が並ぶマルシェ。ベトナム語で「共」を表す[Cộng]をテーマに、家族や村の共にあって長い年月をかけて紡がれてきた伝統工芸と、職人とデザイナーの共による個性的で美しい雑貨やグッズが並ぶ市。また共に集まり語り合う場「コン・カフェ」がベトナムの豊かな食を展開する。

Cộng Moments
Vietnam Market



瀬戸内アジアフォーラム2025
(秋会期)

開催概要

オープニングフォーラム (公開) 10月3日
講演登壇者(案)
尾池和夫(地球物理学者、元京都大学総長)、Sameh Wahba サメル・ワハバ(世界銀行ディレクター)、Khalil RABAH ハリル・ラバー(アーティスト/パレスチナ) 池澤夏樹(作家)
クロージングフォーラム (公開) 10月5日

【新作】
高松港

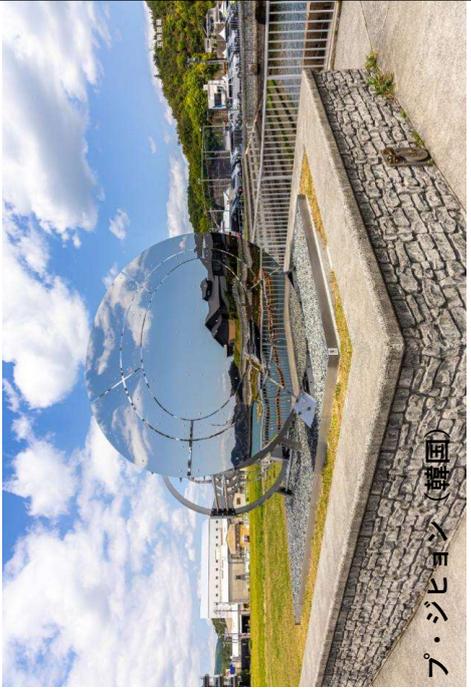


ホンマタカシ写真展SONGS
～ものが語る難民の声
2025

ホンマタカシ (日本)

【新作】

宇野港



「The HOME」 2025

プ・ジヒョン (韓国)

【新会場 (夏)】

引田 (東かがわ市)



日本の手袋生産90%以上を占める手袋産業



歴史的まち並み

【新作】

引田



内装設計 宮崎晃吉 + 顧彬彬

東かがわ手袋ギャラリー

BYUNGMIN
YOUNGMIN
KIM

レオニート・チシコフ
マリナー・モスクヴィナ
(ロシア)

みんなの手
月まで届く手袋を編もう！
手袋の童話

内装設計 宮崎晃吉 + 顧彬彬

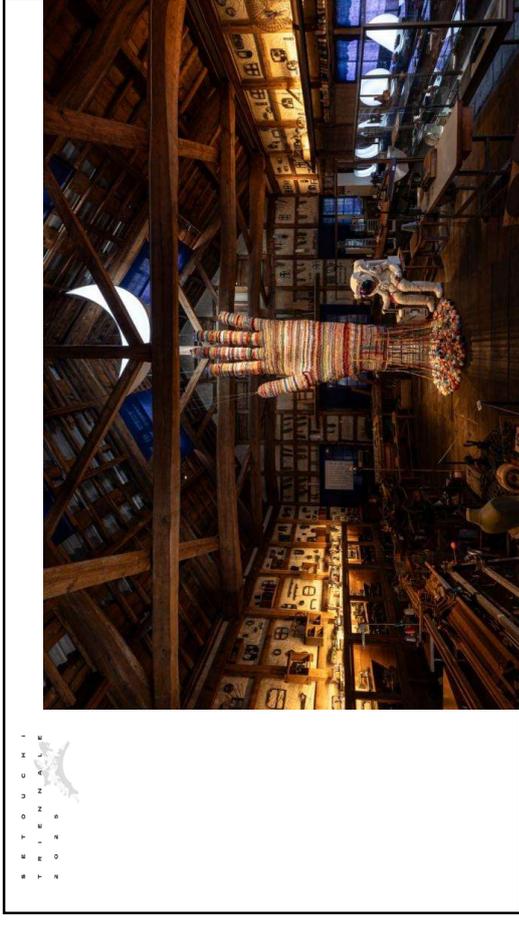


2025 韓日文化未来カンファレンス
「 국제 심포지움」



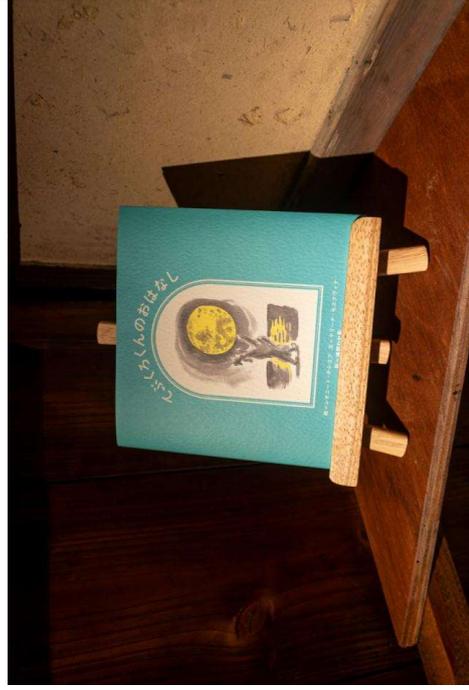
BEYOND
TRINITY
TODAY

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



BEYOND
TRINITY
TODAY

引田
マリナ・モスクヴィナ
(ロシア)
「てぶくろの童話」
2025



BEYOND
TRINITY
TODAY

大切なあの人へ、オーダー手袋を



※箱の他、サイズはイメージです

2025 韓日文化未来カンファレンス
「국제 심포지움」

【新作】
引田



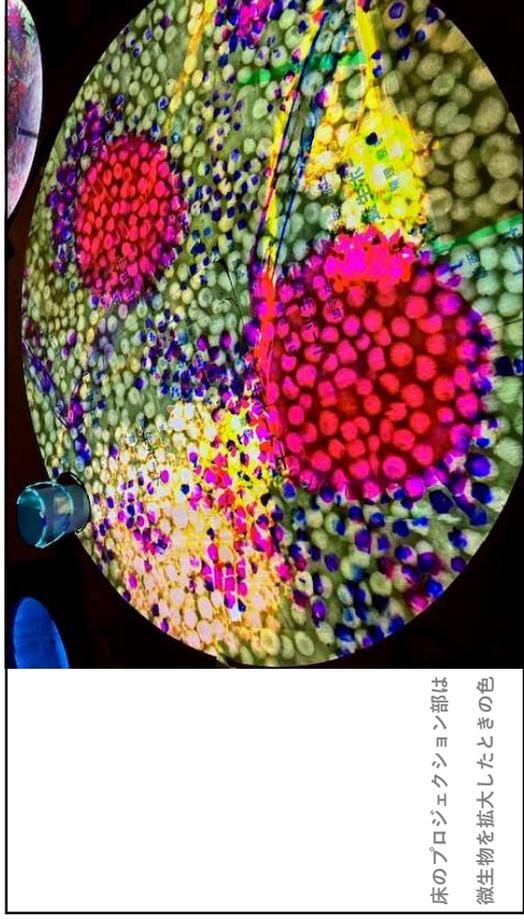
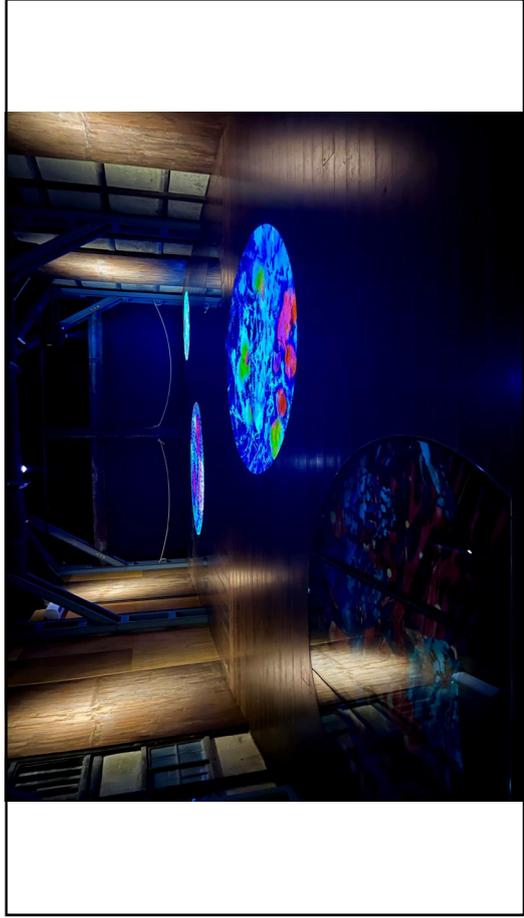
設計 沖野優

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



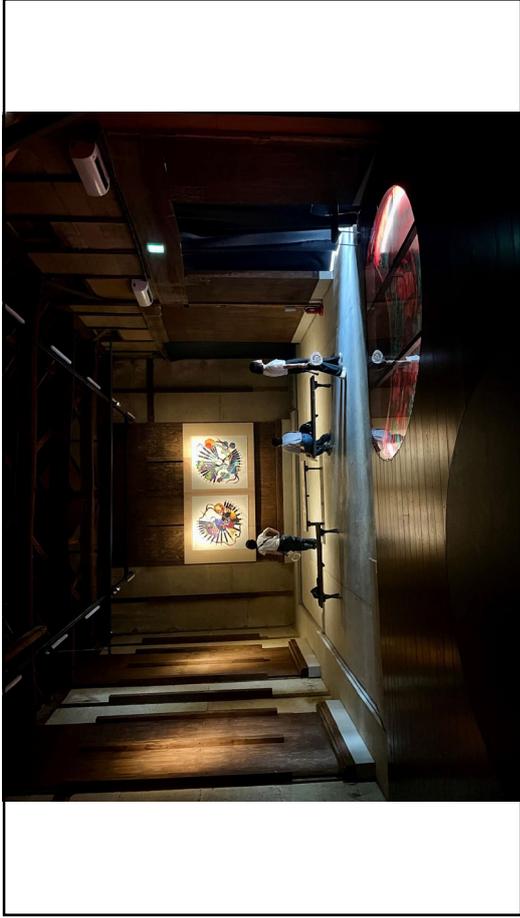
ラックスメディアアコレクティヴ
(インド)

KASAYA
ソーシヤル/パフォーマンススペース



床のプロジェクション部分は
微生物を拡大したときの色

2025 韓日文化未来カンファレンス
「국제 심포지움」



2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」

オフィス、セミナー、映画上映、パフォーマンス公演や結婚式等のイベント、展示会場
等様々な用途に活用



こえび隊の活動

瀬戸内国際芸術祭サポーター
こえび隊
The volunteer group
for Setouchi Triennale

- 2022年の実働人数：延べ3,842人
- コロナ前の2019年は延べ約8,000人が参加。アジアを中心に、各地から多くの海外サポーターも参加した



芸術祭からの拡がり | 世界に広がる芸術祭

- 韓国 安養パブリック・アート・プロジェクト APAP-Anyang Public Art Project
台湾 台湾東海岸大地藝術節 Taiwan East Coast Land Arts Festival 他
中国 芸術在樵山—広東南海大地の芸術祭 Art Field NANHAI GUANGDONG
桐廬大地藝術節 (景徳鎮、淳梁) Tonglu Art Triennale / ART at FULIANG
山東省桃花島の地域再生プロジェクト Project at Taohua Island
その他 世界銀行による創造都市プロジェクト Creative Cities Event by the World Bank



• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

사회참여예술의 관점에서 본 문화예술을 통한 사회 변화 社会的関与型アートの枠組みにおける、 韓国と日本の文化的・芸術的実践と社会変革の推進力

조정윤 (부산문화재단 문화시민본부장)

ジヨ・ジョンユン (釜山文化財団 文化市民本部長)



Profile

부산문화재단 문화시민본부장

釜山文化財団 文化市民本部長

전 한국광역문화재단연합회 지역문화정책연구소장
元 韓国広域文化財団連合会 地域文化政策研究所長

Japan Foundation 연구 펠로우

Japan Foundation 研究フェロウ



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BUSAN CULTURAL FOUNDATION

협력協力: BankART 1929

社会的関与型アートの枠組みにおける、
韓国と日本の文化的・芸術的実践と
社会変革の推進力

Cultural and Artistic Practices
As Drivers of Social Change in Korea and Japan
within the Framework of Socially Engaged Arts

조 정준
Cho Jung Yun (Ph.D.)
釜山文化財団文化市民本部長
Executive Director, Cultural Affairs

Contents

- 01 文化政策の背景
Background of Cultural Policy
- 02 包摂的・世代共感アート
Inclusive Arts & Intergenerational Arts
- 03 文化芸術による平和と連帯
Peace and Solidarity
through Culture and the Arts
- 04 韓日間文化認識調査
Korea-Japan Cultural Awareness Survey

01 社会的関与型アートの文化政策的背景
The Cultural Policy Background of Socially Engaged Arts

公的支援の視点からみたアートマネジメントと文化政策
Management & Cultural Policy from the Perspective of Public Support

1940年代 / 1940s

イングランド・アーツカウンシルの設立
(1946年)。第二次世界大戦後、心理的
回復を目的とした国家レベルの文化・芸術
支援。
Establishment of the Arts Council of
England (1946).
After WWII, cultural and artistic
support at the national level for
psychological healing.

1960年代 / 1960s

ボーマルトとボウエン「集合芸術の経済的
シフト」(1960年)、米国におけるア
ートマネジメントの重要性と、公的支援
支援による文化政策の拡大を主張。
Baumgart and Bowen, *The Economic
Importance of the Performing Arts* (1966).
They argue for expanding cultural
enjoyment through public cultural
support.

1980年代 / 1980s

ジョン・マイヤーズ「コフイギリスにおける芸術
の経済的重要性」(1988年)。
経済危機の中で、英国における芸術の経
済的重要性を強調。
John Myerscough, *The Economic
Importance of the Arts in Britain* (1988).
During economic crisis, emphasized the
economic importance of the arts in the
UK.

1990年代 / 1990s

世界的に文化・芸術の直接的効果
(Direct Effect)および波及効果
(Spillover Effect)に関する研究と議論
が世界的に拡大。
Worldwide expansion of research and
discussion on the direct effect and
spillover effect of culture and the arts.

2000~2010年代 / 2000s - 2010s

芸術教育や地域文化の分権化、そし
て文化を基とした都市再生やコミュニ
ティづくりが、都市政策の重要な柱
となる。
Arts education, regional cultural
decentralization.
Urban regeneration and community
building through culture as core
elements of urban policy.

現在 / Today

文化や芸術の社会的価値
・ 芸術・文化によるレジリエンス
・ 社会政策の一部としての文化政策
the arts.
• Healing and resilience through
arts and culture.
• Cultural policy as social policy.

ユネスコ文化政策 / UNESCO Cultural Policy

ユネスコ憲章と文化多様性 The UNESCO Charter & Cultural Diversity

ユネスコは文化多様性に基づき、「平和の促進」「相互理解と尊重の促進」「知識の共有と普及」「人権の尊重」に重点を置いている。

UNESCO is mainly concerned with 'promoting peace', 'promoting mutual understanding and respect', 'knowledge sharing and dissemination' and 'respect for human rights' based on cultural diversity

ユネスコ政策動向 Trends in UNESCO Cultural Policy

2018年、「Culture for the 2030 Agenda」を公刊し、持続可能な発展のために、5つの分野において、文化が国際社会に貢献することを宣言した。

In 2018, the Culture for the 2030 Agenda was released, declaring culture's contribution to the international community in five areas for sustainable development

釜山文化財団 政策アジェンダ Busan Cultural Foundation Policy Agenda

「文化を通じた持続可能な平和・連携・協力」というユネスコ憲章の重要な価値を全世界に発信する。

Promoting the UNESCO Charter's overarching value of 'Sustainable Peace, Solidarity and Cooperation through Culture' to the world

「2030アジェンダ」における文化 Culture for the 2030 Agenda

人々 / PEOPLE

文化によって人々の生活の質を向上させ、誰一人取り残されない社会を目指す

The aim is to improve people's quality of life through culture and to create a society in which no one is left behind.

世界 / PLANET

文化を通じて環境保護と持続可能な開発を促進

The aim is to improve people's quality of life through culture and to create a society in which no one is left behind.

繁栄 / PROSPERITY

文化産業の発展を通じて経済的繁栄を實現

Achieve economic prosperity through the development of cultural industries

平和 / PEACE

文化交流を通じて国際平和と相互理解を促進

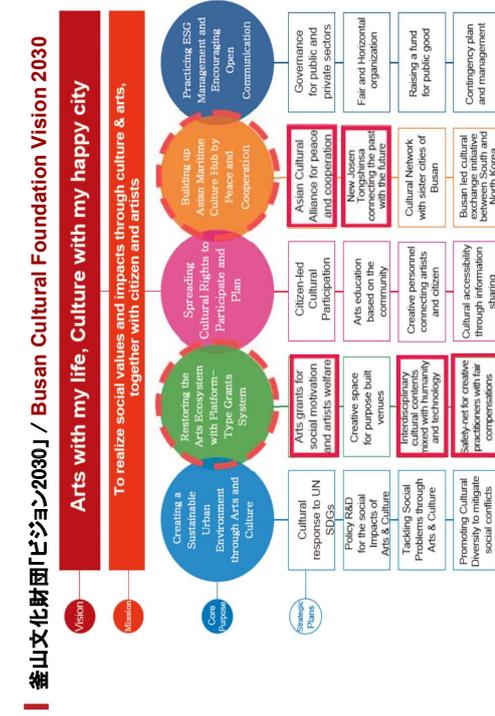
Promote international peace and mutual understanding through cultural exchange.



釜山文化財団「ビジョン2030」 / Busan Cultural Foundation Vision 2030

Arts with my life, Culture with my happy city

To realize social values and impacts through culture & arts, together with citizen and artists



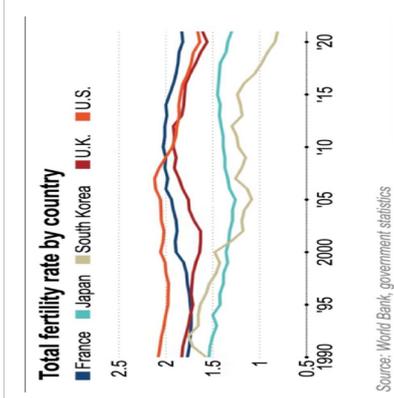
The flowchart details the following components:

- Creating a Sustainable Urban Environment through Arts and Culture**
 - Cultural response to UN SDGs.
 - Policy R&D for the social impacts of Arts & Culture.
 - Tracking Social Problems through Arts & Culture.
 - Promoting Cultural Diversity to mitigate social conflicts.
- Restoring the Arts Ecosystem with Platform-Type Grants System**
 - Arts grants for social motivation and artists welfare.
 - Creative space for social well-being.
 - Interdisciplinary Arts & Culture.
 - Safe space for creative practitioners with fair compensations.
- Spreading Cultural Rights to Participate and Plan.**
 - Citizen-led Cultural Participation.
 - Arts education based on the community.
 - Creative personnel connecting artists and citizen.
 - Cultural accessibility through information sharing.
- Building up Asian Maritime Culture Hub by Peace and Cooperation**
 - Asian Cultural Alliances for peace and cooperation.
 - New Jeon Longjalmsa connecting the past and future.
 - Cultural Network with sister cities of Busan.
 - Busan led cultural exchange initiative between South and North Korea.
- Practicing ESG Management and Encouraging Open Communication**
 - Governance for public and private sectors.
 - Fair and Horizontal organization.
 - Raising a fund for public good.
 - Contingency plan and management.

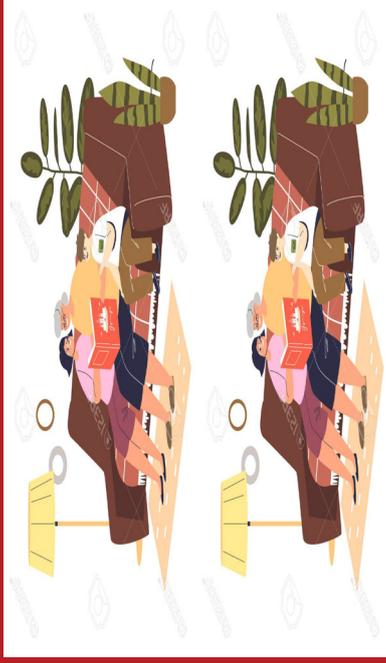
釜山文化財団「ビジョン2030」の主要戦略 Key strategies of the Busan Cultural Foundation's Vision 2030

- 1 持続可能な都市環境の構築 / Building a sustainable city**
文化を通じて釜山の都市環境を持続可能なものとし、市民の生活の質を向上させる。
Making the urban environment of Busan sustainable through culture and improving the quality of life of its citizens
- 2 アジア海洋文化ハブの構築 / Building an Asian maritime cultural hub**
釜山の地理的特性を活用し、アジアにおける海洋文化都市の中心を形成する。
Busan's geographical characteristics as a center of maritime culture in Asia
- 3 国際文化交流の新モデルの提示 / A new model for international cultural exchange**
朝鮮通信使を活用した国際文化交流の新モデルを提示する。
Joseon Tongolsinsa, UNESCO Memory of the World as a new model for international cultural exchange
- 4 文化芸術による社会問題の解決 / Tackling social issues through the arts**
文化芸術を通じて社会問題への認識を改善し、解決策を提案する。
Raising awareness of and seeking solutions to social challenges through arts and culture

韓日兩國に見られる深刻な社会現象
Depressing Social Phenomena in Korea and Japan

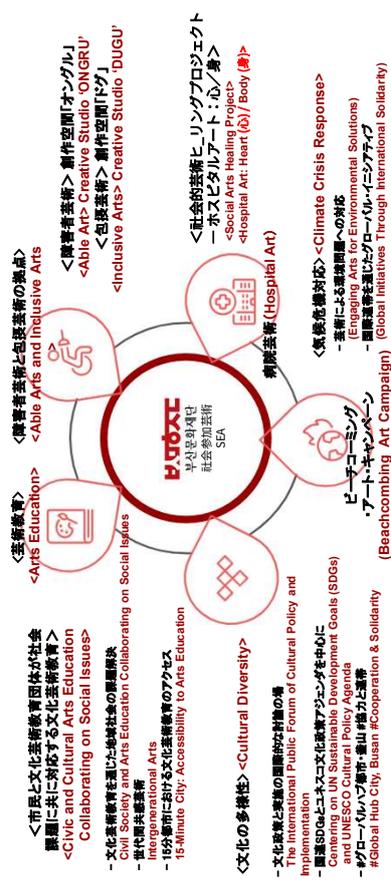


韓国の伝統的な芸術教育は世代間のコミュニケーションから始まる
Traditional arts education in Korea begins with intergenerational communication



02 S.E.Aを基盤とした
インクルーシブアートおよび世代間共感アート
Inclusive and Intergenerational Arts
Grounded in Socially Engaged Arts

社会参加型芸術 / Socially Engaged Arts
「芸術が地域社会の問題を解決する」(Arts resolves local community challenges)



釜山文化財団が注目する世代間芸術と創造的エイジング
Intergenerational Arts and Creative Aging: Busan Cultural Foundation's Focus



釜山文化財団は、世代間芸術と創造的エイジングに注目しています。この取り組みは、高齢化、地域消滅、生活の質といったさまざまな社会課題に対応することを目的としています。コミュニティ意識を育み、文化政策の受益者を拡大させることで、あらゆる世代にとってより包摂的で活気ある芸術的環境を創出することを目指しています。

The Busan Cultural Foundation is placing a spotlight on intergenerational arts and creative aging. This initiative aims to address various societal challenges such as an aging population, local extinction, and quality of life. By fostering a sense of community and converging cultural policy beneficiaries, the foundation seeks to create a more inclusive and vibrant artistic landscape for all generations.

韓国と日本における世代間芸術の重要性
Korea & Japan, The Importance of Intergenerational Arts

高齢化
(Aging Population)

高齢化人口の増加に伴い、世代間芸術は異なる年齢層の間に相互理解と協力を促進する特別な機会を提供する。

With an increasing aging population, intergenerational arts provide a unique opportunity to bridge the gap between different age groups, fostering understanding and cooperation.

地域消滅
(Local Extinction)

すべての世代が芸術的な取り組みに参加することによって、地域文化と伝統を継承・保全し、地域消滅の危機に対応することができる。

By engaging all generations in artistic endeavours, we can help preserve local culture and tradition, combating the threat of local extinction.

生活の質
(Quality of Life)

世代間芸術プログラムは、あらゆる年齢層の参加者に対し、意義ある参加と社会的つながりを提供することによって、生活の質を大きく向上させる。

Intergenerational arts programmes can significantly improve the quality of life for participants of all ages, providing meaningful engagement and social connections.

文化政策受益者の集約
Convergence of Cultural Policy Beneficiaries

韓国の伝統的な子育て
Korean Traditional Childcare

世代間プログラムに伝統的な子育て法を取り入れ、社会における最年少世代と最年長世代とのつながりを促進する。
Incorporating traditional childcare methods into intergenerational programmes, fostering connections between the youngest and oldest members of society.

学校での芸術教育
Arts Education in Schools

生涯にわたる芸術的関わりを醸成するために、特に音楽や美術における学校での芸術教育を拡充する。
Expanding arts education in schools, particularly in music and art, to provide a foundation for lifelong artistic engagement.

人生の中年期における芸術的自己実現
Artistic Self-Realization in Midlife

中年期の人々に、創造的な活動を通じて芸術的可能性を探索し、自己実現を達成する機会を提供する。
Offering opportunities for middle-aged individuals to explore their artistic potential and achieve self-realisation through creative pursuits.

全世代の統合芸術
Combined Arts for All Ages

多様な芸術形態を組み合わせて、異なる年齢層に訴求し、世代間の協働を促進するプログラムを開発する。
Developing programmes that combine various art forms, appealing to different age groups and fostering intergenerational collaboration.

世代間コミュニケーションにおける芸術の役割強化
Reinforcing the Role of Arts for Intergenerational Communication

政策的支援
Policy Support

乳幼児、青年、中年、高齢者といった対象別の芸術教育支援から、世代間芸術を対象とする政策的支援へと拡充する。
Policy support for intergenerational arts in targeted (infant, young, middle-aged, and elderly) support for arts education

コミュニティの回復
Community Restoration

世代間芸術を通じて、家族、地域社会、社会関係の回復を促進する。
Restoring family, community and society through intergenerational arts

三世代プログラム
Three-Generation Program

三世代が一緒に遊ぶ、必ず文化プログラムを開発する。
Developing cultural programs for three generations to enjoy together

乳幼児と高齢者のコラボレーション
Infant-Elderly Collaboration

政策的恩恵を受ける乳幼児と高齢者が一緒に参加できるプログラムを開発する。
Support for programs that bring together infants and the elderly under policy benefits

創造的な高齢期の芸術教育
Creative Aging Arts Education

ゆりかごから墓場まで
From Cradle to Grave
文化的福祉の観点から、ゆりかごから墓場までを対象とする芸術のライフサイクル・プログラムを開発
Develop Cradle to Grave life cycle programs for the arts from a cultural welfare perspective

エビデンスに基づく芸術教育政策
Evidenced Based Arts Education Policy

文化・芸術教育の有効性を実証的に検証することによる、その有用性の提唱
Advocacy for the utility of cultural and artistic education through empirical verification of the effectiveness of cultural and artistic education

15分都市における芸術教育
15 Minute City Arts Education

地域の高齢化社会に対応し、高齢者を対象とした「15分都市」文化芸術教育を強化する。
Strengthening 15 minute city cultural and arts education for the elderly in response to the local aging society

人生回顧プロジェクト
Life Retrospective Project

「芸術を通じた人生回顧プロジェクト」を実施し、自伝、映画、文学、美術、舞台芸術などを通じて個人の人生を表現する芸術活動を支援する。
Implementation of the "Life Retrospective Project through Art" *Support for grassroots arts that express individual lives through autobiography, film, literature, art, and performance.

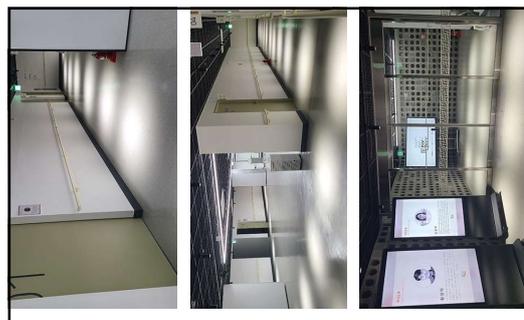


釜山文化財団のインクルージブ・アーツ実践に向けた使命
The Busan Cultural Foundation's Mission for Inclusive Arts Practice



釜山文化財団は、障がいのある芸術家の権利を保護し、その芸術活動を支援するために、さまざまな取り組みを進めています。
これらの努力を通じて、すべての芸術家に対する公正な扱いを保障することにも、障がいの有無を超えた芸術的な協働や創造的な育成を促進することを目標としています。

The Busan Cultural Foundation has embarked on various initiatives to protect the rights of artists with disabilities and support their artistic endeavors. Through these efforts, it aims to ensure fair treatment for all artists and promote artistic collaboration and creative cultivation that transcends the boundaries between disabled and non-disabled individuals.



社会的関与型芸術における障がいのある芸術家の参加 Participation of the Artists with Disabilities in Socially Engaged Arts Initiatives

| | | |
|--|---|--|
| <p>地域社会との連携 Integration with the Local Community</p> | <p>社会的認識の改善 Improvement of Social Awareness</p> | <p>自己実現の機会 Opportunities for Self-Realization</p> |
| <p>地域社会の課題に取り組み、 えでの障がいのある芸術家の 関与を促進する Fostering involvement of disabled artists in addressing issues within the local community</p> | <p>芸術活動を通じて社会的認識を 高め、障害に対する偏見を軽減し、 インクルージブな社会を促進する Enhancing social awareness through artistic activities to alleviate biases toward disabilities and promote inclusivity</p> | <p>社会参加を通じて、障がいのある 芸術家が自身の能力と可能性を 発揮できるように支援する Empowering disabled artists to showcase their capabilities and potential through social participation</p> |

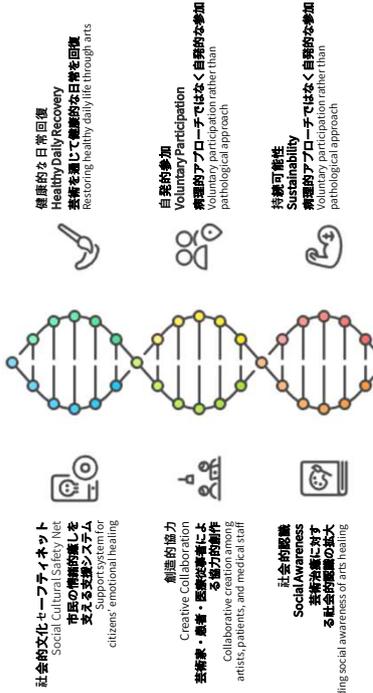



インクルージブ・アーツに参加するアーティストの公正な待遇と創作基盤 Promoting equitable treatment and recognition for all participants in inclusive arts and their creative talents

| | |
|---|---|
| <p>■ 公正な待遇 障書を持つ芸術家たちが自身の作品と 才能に対する公正な待遇の強化 Fair compensation Enhancing fair treatment and recognition for disabled artists and their talents in their works</p> | <p>■ 安定した創作環境 障書のある芸術家が安定的に創作活 動を行える支援体制の整備 Creating a stable creative environment Establishing a supportive system for disabled artists to engage in creative activities stably</p> |
| <p>■ 法的・制度的支援体制の改善 創作へのアクセスの向上と作品流通体制 の法制度化を通じて芸術活動の機会拡大 Improving legal support systems Expanding opportunities for artistic activities through improved accessibility in creation for disabled artists and legal institutionalization of artwork distribution</p> | <p>■ 芸術教育の強化 障書、インクルージブアーツに関する認識改善 教育及び仲間同士の学びを通じた能力強化 Enhancing arts education Expanding awareness of disability arts and inclusive arts through education and peer learning for capacity building</p> |

社会的アートヒーリングプロジェクト「ホスピタルアート」 Social Arts Healing Project "Hospital Art"

芸術で市民の心を癒し、社会的孤立を軽減して連帯を築くプロジェクト
Healing citizens' hearts through arts and creating solidarity beyond social isolation



Expanding social awareness of arts healing

03 文化芸術による平和と連帯 Peace and Solidarity through Culture and the Arts

2023 釜山文化カンファレンス 2023 Busan Culture Conference

基調講演

Keynote Speech

UNESCO ADG エルネスト・オットーネ・ラミレズが「文化交流を通じて包摂と平和の回復」をテーマに講演。

UNESCO ADG Ernesto Ottone Ramirez presents on "Restoring Inclusion and Peace through Cultural Exchange."

テーマ講演

Theme Presentation

ユネスコ文化政策・開発局長 パオラ・レオニ・バーティが「包摂と協力のためのユネスコ文化政策アジェンダ」について発表。

Presentation by Paola Leoncini Bartoli, Director of Cultural Policy and Development, UNESCO, on the UNESCO Cultural Policy Agenda for Inclusion and Cooperation.

アジア太平洋の文化的多様性 Asia-Pacific Cultural Diversity

ユネスコ・アジア太平洋文化部長 ファン・ジンが「アジア太平洋における文化的多様性、地域紛争克服のための方策」について発表。

Presentation by Feng Jin, Head of UNESCO Asia-Pacific Cultural Unit, on "Cultural Diversity in the Asia-Pacific: Solutions for Overcoming Regional Conflicts."

釜山の文化的対応と実践 Cultural Responses and Practices in Busan

高神大学 名誉教授 ナム・ソンウが「平和と連携のための釜山の実践的対応と努力」について講演。

Nam-Sung Woo, Professor Emeritus of Ko Shin University, on "Busan's Practical Responses and Efforts for Peace and Solidarity."



文化芸術を通じて平和と協力の釜山宣言 Busan Declaration on Peace and Cooperation through Culture and Arts

ユネスコの文化多様性と朝鮮通信使精神の受容 Embracing UNESCO cultural diversity and the spirit of Joseon Tongsinsa

釜山宣言は、朝鮮通信使の「価値交換」の理念を継承し、より平和と調和のとれた世界の実現に向けて努力する意図を表明するものである。
The Busan Declaration inherits the Joseon Tongsinsa's philosophy of "sincerity and friendship" and indicates that it will work towards a more peaceful and harmonious world.

* [2023年5月4日、大韓民国釜山で開催された釜山文化学議の参加者は、芸術と文化を通して世界平和を促進するための確固たる決意を語りをもって宣言する。] という序文で始まる「釜山宣言」は、以下の項目で構成されている。

- (1) 文化的多様性と権利、(2) 平和のための芸術と文化、(3) 持続可能な発展のための文化政策、(4) 文化的多様性と包摂性、(5) 文化政策の社会的影響、(6) 文化パートナーシップ、(7) 文化プロジェクトの連携と協力

文化交流を通じた日韓関係改善のためのユネスコ会議 UNESCO Korea-Japan Conference on Improving Japan-Korea Relations through Cultural Exchange

朝鮮通信使監製物のユネスコ世界記憶遺産への日韓共同登録以降、日韓関係改善における文化芸術の役割をテーマにした韓日ユネスコ委員会議による初会合が2023年5月5日、釜山で開催された。

The first meeting of Korean and Japanese UNESCO committee officials was held in Busan on 5 May 2023 on the theme of the role of art and culture in improving relations between Korea and Japan since the co-registered documents of Joseon Tongsinsa as UNESCO Memory of the World.

文化芸術による平和と連帯の背景 Background on peace and solidarity through the arts

- ① UN SDGsにおける文化的実践 / Cultural realization of UN SDGs
 国連は2015年に17の持続可能な開発目標(SDGs)を採択した。文化分野は直接的な目標項目としては含まれていないものの、ユネスコを中心として「文化の社会的影響力」を強化する動きが進展しており、文化セクターにおいてSDGsを積極的に導入する事例が増加している。
 The UN adopted 17 Sustainable Development Goals (SDGs) in 2015. While the cultural sector isn't directly included, the SDGs are increasingly embraced by the cultural community, especially UNESCO, to enhance culture's social impact.
- ② 文化の役割とパートナーシップ / Role of culture and partnerships
 国際社会の多様な分野において、平和と連帯に向けた取り組みが強化される中、世界経済フォーラム(WEF)は2023年のテーマを「分断された世界における協力(Cooperation in a Fragmented World)」と定めた。これは文化の役割やパートナーシップの重要性を再認識させるものである。
 As efforts for peace and solidarity intensify across various sectors of the international community, the World Economic Forum (WEF) has chosen the theme "Cooperation in a Disjointed World" for 2023.
- ③ 釜山文化財団ビジョン2030 / Busan Cultural Foundation's Vision 2030
 2019年に発表された釜山文化財団のビジョン2030は、「持続可能な都市環境の創造」および「アジア海浜文化ハブの構築」を戦略課題として掲げている。
 The Busan Culture Foundation's Vision 2030, released in 2019, sets out "Creating a sustainable urban environment" and "Building an Asian maritime culture hub" as strategic issues.

政策提案と課題 / Policy proposals and issues

- 1 **持続可能な協力チャネルの構築 / Creating sustainable cooperation channels**
ユネスコ本部、ユネスコアジア太平洋地域委員会、ユネスコ日本国内委員会、ユネスコ韓国委員会との政策的連携に向けた持続可能な対話の場を設ける。
Establishing a sustainable discussion forum for policy solidarity with UNESCO Headquarters, the Asia-Pacific Commission for UNESCO, the Japanese National Commission for UNESCO and the Korean Commission for UNESCO
- 2 **釜山文化カンファレンスの定例化 / Regularization of the Busan Cultural Conference**
国内外の主要な芸術文化機関と連携し、国際文化政策アジェンダを中心に据えた「釜山文化カンファレンス」を定期的に開催する。
Promotion of the BSCF's hosting of the Busan Cultural Conference to focus on international cultural policy in collaboration with key national and international arts and cultural organizations
- 3 **文化シルクロード構想 / Envisioning a cultural silk road**
アジアとヨーロッパの都市を結ぶ芸術文化交流のプラットフォームとして文化シルクロード構想に関する協力と議論を推進する。
Cooperation and discussion on the 'Cultural Silk Road' concept as a platform for artistic and cultural exchange linking Asian and European cities.
- 4 **文化外交アワードの創設 / Establishment of the Cultural Diplomacy Award**
平和と協力のためのカルチュラル・モビリティ(cultural mobility)および文化運搬(partnership)に寄与した世界の文化関係者を対象に、「文化外交アワード(cultural diplomacy award)」を創設する。
Cultural diplomacy award for world cultural figures who have contributed to cultural mobility and partnership for peace and cooperation.

新朝鮮通信使 による日韓文化交流プラットフォーム
Korea-Japan Cultural Exchange Platform by New Joseon Tongsinisa

| | | |
|--|--|--|
| <p>日韓ユネスコ合同会議 -Korea Japan meetings</p> <p>日韓共同世界記憶遺産である朝鮮道徳教を契機に「文化交流を通じて平和と協力の価値を広く知らせるとともに日韓ユネスコ合同会議を両国が相互に開催</p> <p>Korea-Japan UNESCO conferences alternating between the two countries to promote 'peace and cooperation through cultural exchange' using the Joseon Tongsinisa and the joint UNESCO Memory of the World.</p> | <p>青少年文化交流プログラム Expansion of youth exchange programs</p> <p>日韓両国ユネスコ委員会の歴史文化交流プログラム拡大推進及び青少年対象文化交流交換キャンペーンの継続開催による両国の相互理解促進</p> <p>Expand and sustain UNESCO history and cultural exchange programs for youth to foster mutual understanding between the two countries.</p> | <p>アーティスト交流支援 Artist exchange support</p> <p>釜山文化財団のビジョン2030に基づき、日韓芸術家交流及び共同プロジェクトを支援し、新朝鮮通信使文化事業を通じて構築された日韓ネットワークを基盤に拡大する芸術国際交流を支援する</p> <p>Support exchanges and joint projects between Japanese and Korean artists, and expand international art and culture exchanges based on the Japan-Korea network from the Joseon Tongsinisa programs.</p> |
|--|--|--|

2025 韓日国交正常化60周年
The 60th Anniversary of Diplomatic Relations between Japan and Korea

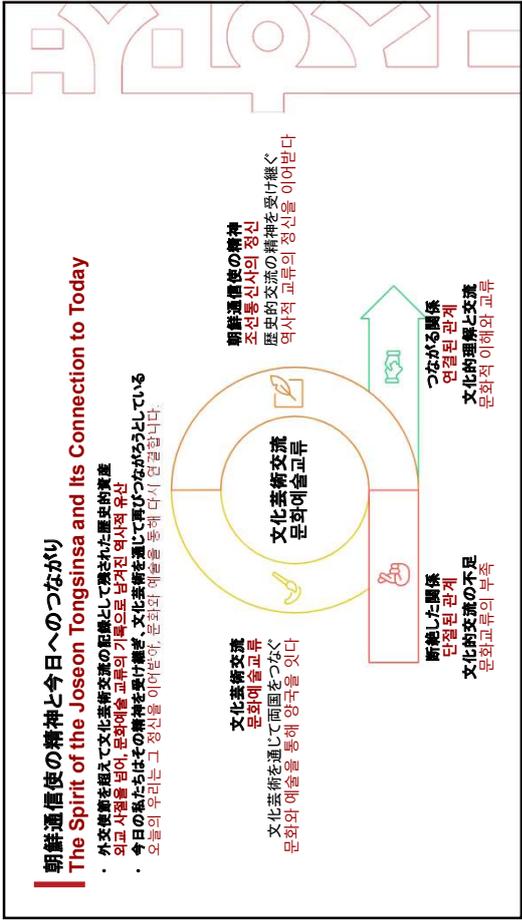
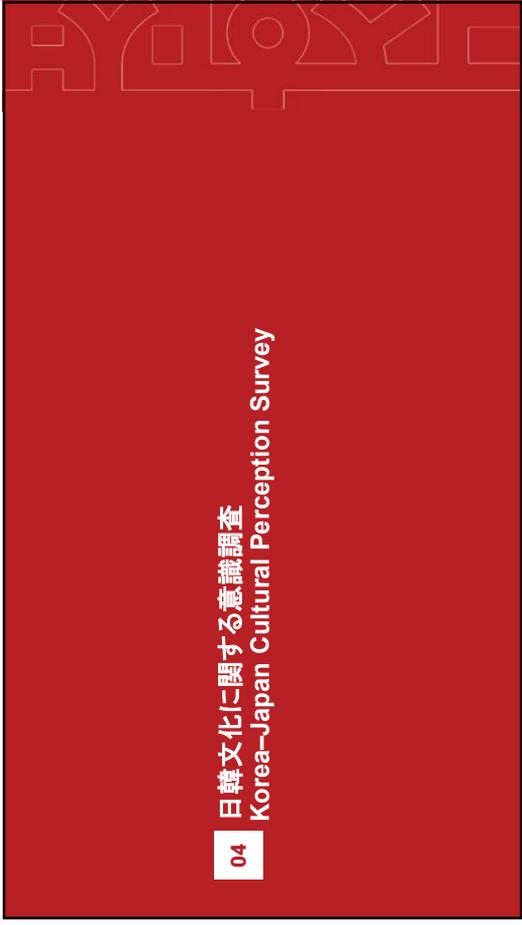
韓日文化交流ニューパートナーシップ
Korea-Japan Cultural Exchange New Partnership

| | | |
|---|---|--|
| <p>協力ネットワークの構築 Building Co-operation Networks</p> <p>韓日の議員連盟、韓日親善友好協会、韓日ユネスコ委員会、釜山文化財団、新朝鮮通信使連合自治体協議会、関係機関、芸術文化分野の専門家、学者、市民などが主軸となる芸術文化交流の新しい新朝鮮通信使協力ネットワークを構築。</p> <p>Establishment of a cooperative network for artistic and cultural exchange involving Korean and Japanese envoys, parliamentarians, and friendship associations, UNESCO commission, the Busan Cultural Foundation, and experts in art, culture, academia, and citizens.</p> | <p>SDGs関連の拡散 Diffusion of SDGs Challenges</p> <p>両国の都市間で芸術中心の文化交流・人交流である新朝鮮通信使を活性化し、文化交流を国交正常化記念の主要議題として設定し、主要行事として韓国と日本の新朝鮮通信使レレードを再興。</p> <p>Revitalizing the New Joseon Tongsinisa, an arts-focused exchange of artists and cultural figures between the cities, placing cultural exchanges at the top of the agenda for the diplomatic relations, and recreating the parade of Joseon Tongsinisa as a key event.</p> | <p>両国都市間の芸術中心の文化交流交換 Inter-city Arts-centered and Artistic Exchanges between the Two Countries</p> <p>両国の都市間で芸術中心の文化交流・人交流である新朝鮮通信使を活性化し、文化交流を国交正常化記念の主要議題として設定し、主要行事として韓国と日本の新朝鮮通信使レレードを再興。</p> <p>Revitalizing the New Joseon Tongsinisa, an arts-focused exchange of artists and cultural figures between the cities, placing cultural exchanges at the top of the agenda for the diplomatic relations, and recreating the parade of Joseon Tongsinisa as a key event.</p> |
|---|---|--|

新朝鮮通信使 文化芸術による平和と運搬の未来
Future of peace and solidarity through the New Joseon Tongsinisa's Art and Culture

| | | |
|--|--|---|
| <p>持続可能な協力体制の構築 Building sustainable cooperation</p> <p>ユネスコおよび各国の文化機関との持続可能な協力体制を構築し、文化政策に関する定期的な対話の場を設ける。 Establish sustainable cooperation with UNESCO and national cultural institutions and regular forums for cultural policy discussions</p> | <p>新朝鮮通信使活動の拡大 New Joseon Tongsinisa</p> <p>日韓文化交流のプラットフォームとして新朝鮮通信使の活動を拡大し、両国の相互理解を促進する。 Tongsinisa as a platform for cultural exchange between the two countries and promoting mutual understanding between them.</p> | <p>文化芸術の社会的影響の拡大 Strengthening the social impacts on arts and culture</p> <p>文化芸術を通じて社会課題の解決と、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する。 Contribute to the achievement of the Sustainable Development Goals (SDGs) by addressing social issues through arts and culture.</p> |
| <p>2025年 日韓国交正常化60周年 The 60th anniversary of diplomatic relations between Japan and South Korea</p> <p>文化協力と国際文化交流を促進する。 Cultural cooperation & promoting international cultural exchanges.</p> | | |

04 日韓文化に関する意識調査
Korea-Japan Cultural Perception Survey



調査概要 / 조사 개요
韓國の釜山文化財団が主催したため、韓國の参加率が高くサンプル数に差があります。
本調査は両国の文化認識の傾向を共有し、相互理解を深める参考資料としています。
이해 조사는 釜山문화재단(주)이 주최한ため, 韓國의 참가율이 높고 샘플 수가 차이가 발생합니다.
본 조사는 양국의 문화인식에 대한 이해를 증진하고 상호 이해를 위한 참고 자료를 제공하고자 합니다.

| | | | | |
|----------------|---------------------------------|--------|----------|------|
| 参加者 참여자 | 韓国 Korea | 2,436名 | 日本 Japan | 805名 |
| 方法 방법 | オンライン+オフライン調査 온라인 + 오프라인 조사 | | | |
| 目的 목적 | 日韓文化認識の比較と分析 한일 문화인식 비교 및 분석 | | | |

性別/성별

| | | | | |
|----|----|-------|----|-------|
| 한국 | 남자 | 33.3% | 여성 | 66.7% |
| 일본 | 남자 | 58.3% | 여성 | 41.7% |

年齢層/연령대

| | | | | | | | | | | |
|----|-----|------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 한국 | 10대 | 1.5% | 20대 | 20.5% | 30대 | 22.5% | 40대 | 22.5% | 50대 | 22.5% |
| 일본 | 10대 | 1.5% | 20대 | 13.5% | 30대 | 22.5% | 40대 | 22.5% | 50대 | 39.5% |

日韓關係認識の現状
한일관계에 대한 인식

韓國の視点 韓국의 시각
「韓日関係は「朝」から発展した」「韓国は「日」から発展した」
「韓日関係は「朝」から発展した」「韓国は「日」から発展した」

日本の視点 日本国的 시각
「韓日関係は「朝」から発展した」「韓国は「日」から発展した」
「韓日関係は「朝」から発展した」「韓国は「日」から発展した」

日韓関係認識の現状
「より良い関係へ進むべきだ」「 더 나은 관계로 나아가야 한다」

Q. 日韓関係についてどう思いますか?
Q. 日韓關係についてどう思いますか?

| | | | | | | | | | | |
|----|-------|------|----|-------|----|-------|----|-------|-------|-------|
| 韓国 | とても良い | 4.8% | 良い | 31.8% | 普通 | 42.2% | 悪い | 15.8% | とても悪い | 5.4% |
| 日本 | とても良い | 2.5% | 良い | 22.5% | 普通 | 42.2% | 悪い | 22.5% | とても悪い | 10.1% |

Q. 日韓関係の未来は韓国は好ましくないですか?
Q. 日韓關係の未來は韓国は好ましくないですか?

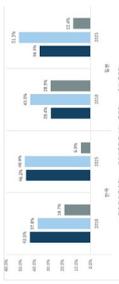
| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|------|--------|-------|----|-------|------|-------|---------|------|
| 韓国 | とても好ましくない | 1.5% | 好ましくない | 13.5% | 普通 | 42.2% | 好ましい | 38.8% | とても好ましい | 3.5% |
| 日本 | とても好ましくない | 1.5% | 好ましくない | 13.5% | 普通 | 42.2% | 好ましい | 38.8% | とても好ましい | 3.5% |

Q. 日韓関係の未来は日本は好ましくないですか?
Q. 日韓關係の未來は日本は好ましくないですか?

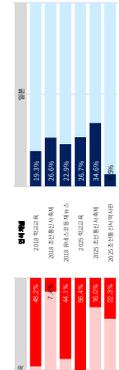
| | | | | | | | | | | |
|----|-----------|------|--------|-------|----|-------|------|-------|---------|------|
| 韓国 | とても好ましくない | 1.5% | 好ましくない | 13.5% | 普通 | 42.2% | 好ましい | 38.8% | とても好ましい | 3.5% |
| 日本 | とても好ましくない | 1.5% | 好ましくない | 13.5% | 普通 | 42.2% | 好ましい | 38.8% | とても好ましい | 3.5% |

2018 vs 2025의 변화의推移
2018 vs 2025 변화 추이

Q. 「朝鮮通信使」についてどう感じますか？



Q. 「朝鮮通信使」についてどう感じますか？



韓国 Korea
ブランド化(商標)に導入
ブランド化(商標)に導入

- 地域、国家を代表する文化ブランドへ発展
- 地域、国家を代表する文化ブランドへ発展
- 地域、国家を代表する文化ブランドへ発展

日本 Japan
韓流の認知から韓流ブームへ、韓国
韓流の認知から韓流ブームへ、韓国

- 韓流ブーム：韓流ブームの中心地へ入り、イベントによる韓流ブームへ、韓国
- 韓流ブーム：韓流ブームの中心地へ入り、イベントによる韓流ブームへ、韓国

文化外交、教育協力、コンテンツ協働による認識拡大の道をつなぐ
文化外交、教育協力、コンテンツ協働による認識拡大の道をつなぐ

互いに思い浮かべるイメージ / 서로에게 떠오르는 이미지
過去と現在をつなぐ朝鮮通信使の記録
過去と現在をつなぐ朝鮮通信使の記録

| イメージキーワード 이미지 키워드 | 韓国が見た日本 / 한국이 본 일본 | 日本が見た韓国 / 일본이 본 한국 |
|--|---|---|
| 思い浮かぶ代表的人物 떠오르는 대표적인 인물 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 李舜臣 / 이순신 2. 鄭道玄 / 정두현 3. 李滉 / 이황 4. 李齊賢 / 이齊賢 5. 朴正熙 / 박정희 6. 李承燾 / 이承燾 7. 李承晩 / 이承晩 8. 李承晩 / 이承晩 9. 李承晩 / 이承晩 10. 李承晩 / 이承晩 | <ul style="list-style-type: none"> 1. 李舜臣 / 이순신 2. 鄭道玄 / 정두현 3. 李滉 / 이황 4. 李齊賢 / 이齊賢 5. 朴正熙 / 박정희 6. 李承燾 / 이承燾 7. 李承晩 / 이承晩 8. 李承晩 / 이承晩 9. 李承晩 / 이承晩 10. 李承晩 / 이承晩 |
| 朝鮮通信使の記録とつながる今日 조선 통신사의 기록과 이어지는 오늘 | <p>朝鮮通信使「密使行列図巻」 조선 통신사 「밀사행렬도」 → 文化交流の瞬間を後で記録 → 文化交流の瞬間を後で記録</p> <p>今も線で世界と交差するアニメ・イラスト大国 현재도 그 선으로 세계와 교차하는 애니메이션/일러스트 강국</p> | <p>朝鮮通信使の記録と類似 조선 통신사의 기록과 유사</p> <p>「情が深い、礼儀正しい、活気があふ、よく食べよく飲む」 → “정 깊고 예의 바른 사람, 활기 넘치고 먹는 거 좋아하고 마시는 거 좋아함”</p> |

兩國が誇る文化芸術(過去—今日)
양국이 자랑하는 문화예술(과거-현재)

過去にも朝鮮は音楽・文学、日本は繪で互いを理解した
과거에도 조선은 음악과 문학, 일본은 그림으로 서로를 이해했습니다.
今日でも「芸術を通じて相手に出逢いたい」という熱望を共有している
오늘날에도 양국은 예술을 통해 만나고자 하는 열망을 공유하고 있습니다.



韓国から日本へ 韓国에서 본 일본
#坂本龍馬 / 역사적 인물
#村上春樹 / 문학·藝術
#宮崎駿 / 애니메이션, 문학, 영화
#高橋留美子 / 만화·소설



日本から韓国へ 일본에서 본 한국
#防弾少年団 / K-POP, 음악, 문학
#李承晩 / 역사·문화, 정치, 문학
#宮崎駿 / 애니메이션, 문학

文化交流(朝鮮通信使)に対する認識
문화교류(조선통신사)에 대한 인식

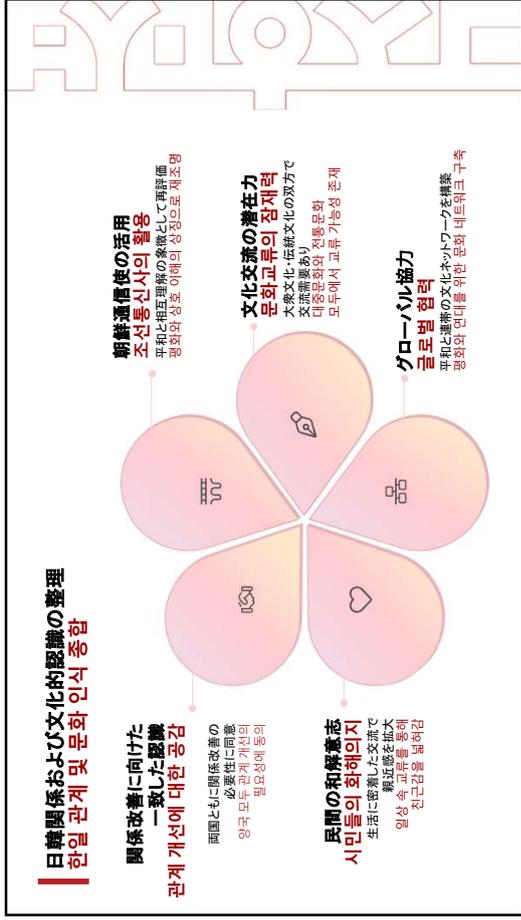
日韓共通 韓人 공통 인식
兩國ともに文化交流が相互に帯与し得るといふ認識を形成 → 協力的な認識
양국은 문화교류가 상호에 기여할 수 있다는 긍정적인 인식 → 협적 인식

Q. 朝鮮通信使の記録が韓流ブームの中心地として知られるようになったのはいつからですか？



Q. 2018年と2025年の朝鮮通信使に関する認知の差はどのくらいありますか？





• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술이 도시를 움직일 때 ~요코하마의 도시 형성과 문화 芸術が都市を動かすとき~横浜の都市形成と文化

노다 쿠니히로 (요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수)

野田邦弘 (横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授)



Profile

요코하마시립대학 대학원 도시사회문화연구과 객원교수
横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 客員教授

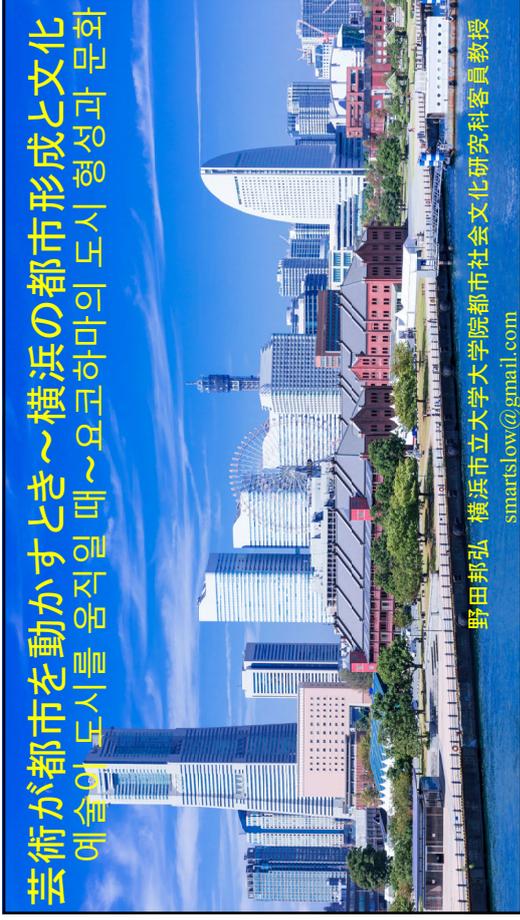
도쿄대학 마을만들기 대학원 강사
東京大学まちづくり大学院非常勤講師

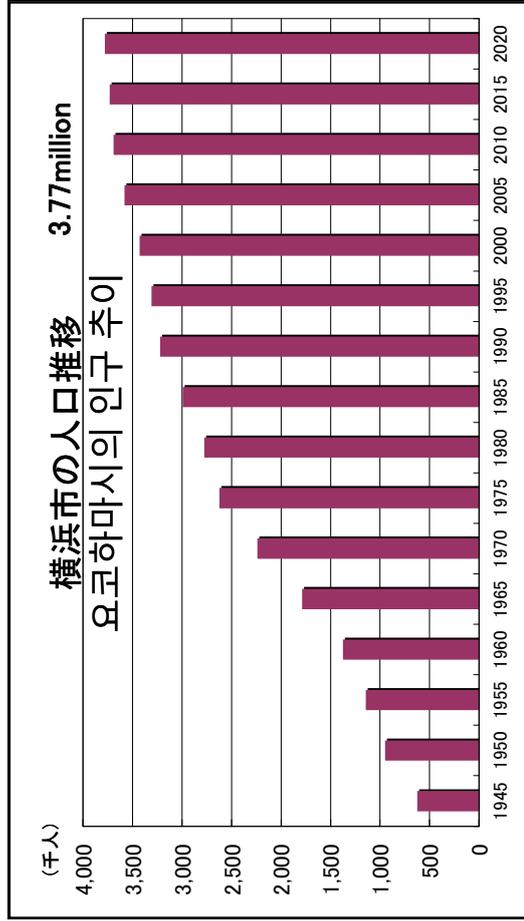
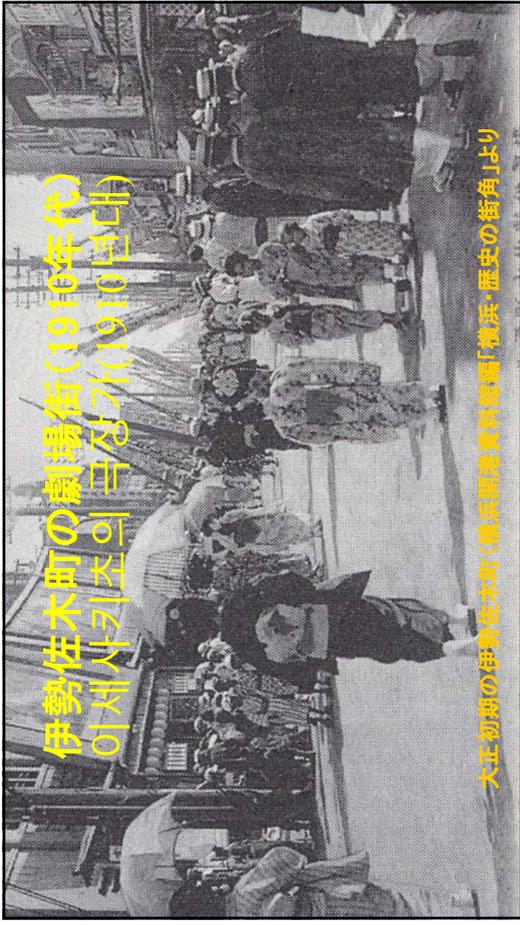
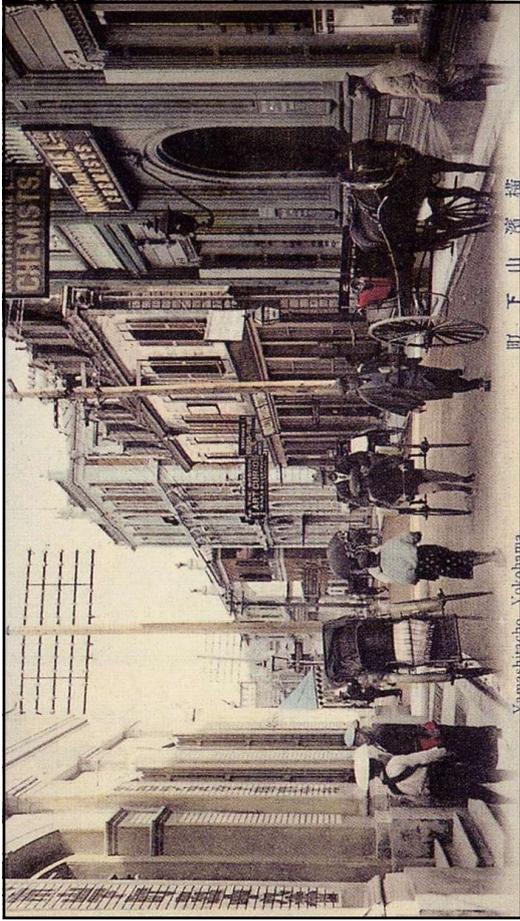
치가사키시 문화·평생학습 계획 추진위원장
茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員長

문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism

부산문화재단
BUSAN CULTURAL FOUNDATION

협력協力: BankART 1929







はしけで暮らす人々
(映画『泥の河』)
배에 사는 사람들



飛鳥田早新市政(1963-1976) mayor Asukata

- 四重苦
- ・関東大震災 間道 大지진 (1923)
 - ・横浜大空襲 요코하마 대공습 (1945)
 - ・占領 점령 (1945~)
 - ・人口急増 인구 급증

田村明のまちづくり: 6大事業 Tamura Akira

みなとみらい21 地下鉄 横浜ベイブリッジ
 高速道路 金沢地先埋立 港北ニュータウン

市内部では「6大事業は必要だろうが、
 横浜市の財政力では無理」と言われた

(田村) 自治体が体質を変え、新しいことに積極的に挑戦し他を動かそうと意欲を持つよう自治体の体質を改善する

↓

前例踏襲ではなく**創造的な政策形成・手法開発**

田村明のまちづくり: 高速道路半地下化

関内駅前の首都高速高架建設案は神奈川県都市計画決定済み(1968)

飛鳥田は自分の決裁を撤回、田村に計画変更を依頼

田村は、旧建設省に交渉するが
 「都市を美しくしようなんてけしからん」
 「東京日本橋の上も高架だ」
 「おまえが市長をたきつけたのだろう」
 などといわれた

田村の粘り強い交渉で国が譲歩し半地下化が実現
 市職員に勇氣と自信を与えた

東海道五十三次之内 日本橋 (歌川広重)

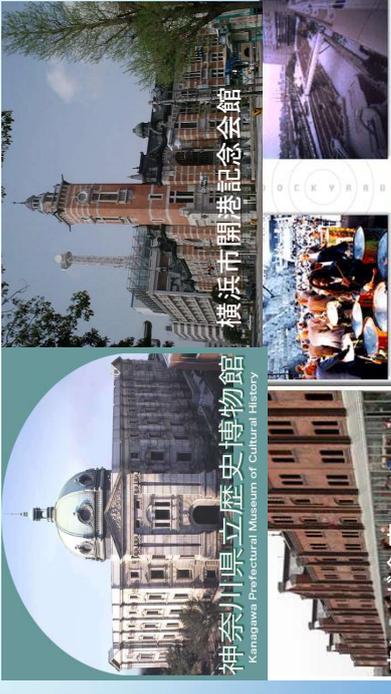


首都高日本橋区間地下化事業
(2040年完成予定)



니혼바시

都市デザイン行政: 歴史的建築物の保存 도시 디자인



神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

横浜開港記念会館

赤レンガ倉庫

ドッグセンドガーデン

都市デザイン専門職

田村明 (故人)



岩崎駿介



北澤猛 (故人)



国吉直行



横浜トリエンナーレ2001



横浜トリエンナーレ2005



YOKOHAMA 2001

YOKOHAMA 2005

International Triennale of Contemporary Art

International Triennale of Contemporary Art

ヨコハマ 現代美術の祭典

ヨコハマ市の文化政策

요코하마시의 문화 정책



綿花倉庫三菱倉庫が解体されるので、その直前借りる

セゾングループが資金提供

セゾンは倉庫対岸の赤レンガ倉庫に興味があり資金拠出

구 미쓰비시 창고

東京アートのセンター
FM横浜
TWKテレビ

協賛 SEIYO 株式会社

西武信用 西武信用
キリシキ印刷 キリシキ印刷
電力 大日本印刷 電力 大日本印刷
日本銀行 日本銀行
三井物産 三井物産
鳥居組 鳥居組
株式会社ニッセイ 株式会社ニッセイ
日本郵政 日本郵政
株式会社ニッセイ 株式会社ニッセイ
株式会社ニッセイ 株式会社ニッセイ
株式会社ニッセイ 株式会社ニッセイ

主催 上田加寿子プロデュース/ハル
エコノミアンソング実行委員会

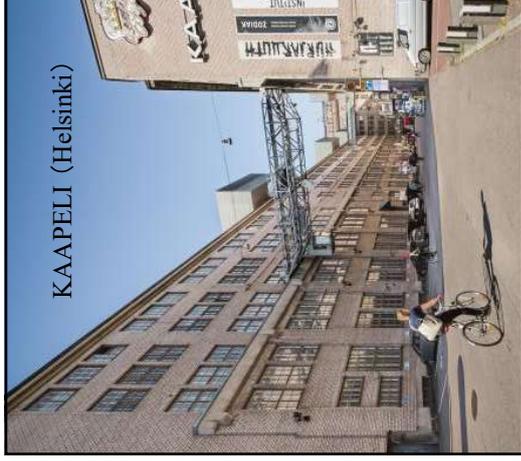
3月11日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月12日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月13日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月14日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月15日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月16日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月17日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月18日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月19日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月20日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月21日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月22日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月23日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月24日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月25日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月26日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月27日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月28日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月29日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席
3月30日 入場料 前売3,000円 当日3,300円 全席自由席

YOKOHAMA ART WAVE '89
市政100周年・開港130周年記念
ヨコハマアートウェーブ89報告書



| Alternative Space (非劇場空間) 公演 | | |
|------------------------------|-----------------------------|---------------|
| 年 | 事業名 | 会場 |
| 1986 | パフォーマンスアートフェスティバルメイガーデン | 日本丸メモリアルパーク |
| 1986 | はみだし劇場「かなかぬち」 | 新本牧土地区画整理事業区域 |
| 1987 | はみだし劇場「鬼の黄金伝説」 | 横浜市開港記念会館 |
| 1987 | パフォーマンスアートフェスティバルメイガーデンⅡ | 旧三菱倉庫 |
| 1988 | ヨコハマフラッシュ | 旧本牧山頂公園予定地 |
| 1988 | 黒テント「逆光線玉葱」 | 日本貨物鉄道旧東高島駅構内 |
| 1988 | 第三エロチカ「ポディーウォーズ」 | 旧宇徳運輸山下倉庫 |
| 1989 | フーラデルスバウス「SUZ/O/SUZ」 | 旧大枝橋ホール |
| 1989 | 米井澄江「Dialogue」(ヨコハマアートウェーブ) | 横浜でこうデパート裏 |
| 1990 | 新宿梁山泊「人魚伝説」 | 旧市營上屋11号倉庫 |
| 1992 | 勅使河原三郎「Noject」 | 旧市營上屋3号倉庫 |
| 1993 | 大野一雄「御殿、空を飛ぶ」 | |

| 公立文化施設 | | アートセンター |
|--------|----------|--------------------------|
| 施設 | 新築 | 歴史的建築物 (オールドナナイヴスペース) |
| 機能 | 芸術鑑賞 | 芸術創造、市民交流、ワークショップ |
| 運営 | 行政、行政系財団 | アーティストラン、アートNPO |
| 対象 | アートファン | アーティスト、アートファン、市民 |
| 体質 | 保守的 | 開放的、イノベティブ |

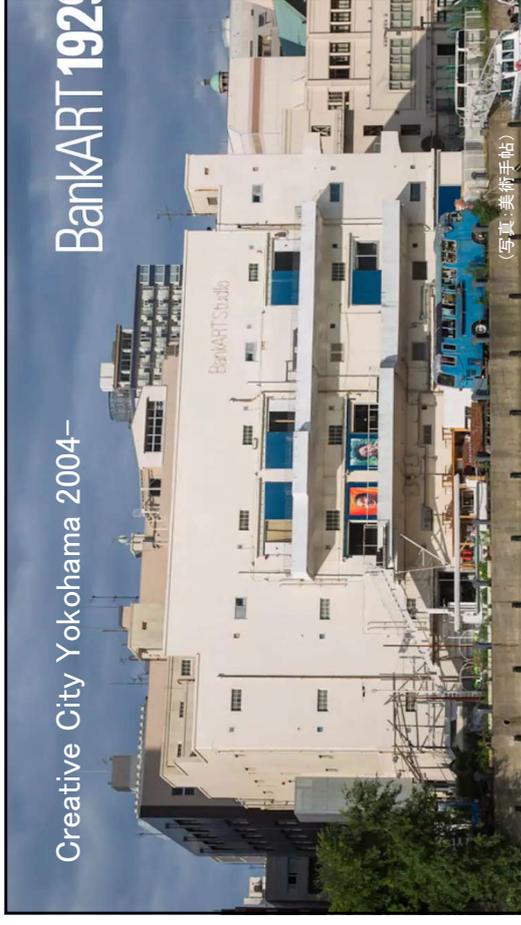




2024 - 31.7.2024
**ARI LAASJARVI: DARK
REST TALES**
Näyttelyt, Galleriat
& koe
Kameraseura Galleria West
Jan Laasjärvi



5.6.2024 - 31.7.2024
**VALLIGRAFIA RY:
KESALLA KERRAN**
Näyttelyt, Galleriat
Taidenäyttelyt
Näe & koe
● Käytävägalleria

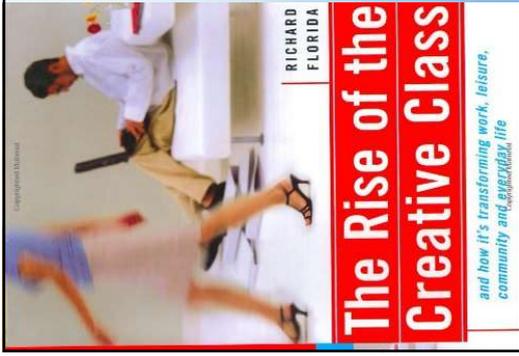




故北澤 猛
横浜市参与・東大教授
元横浜市都市デザイン室長

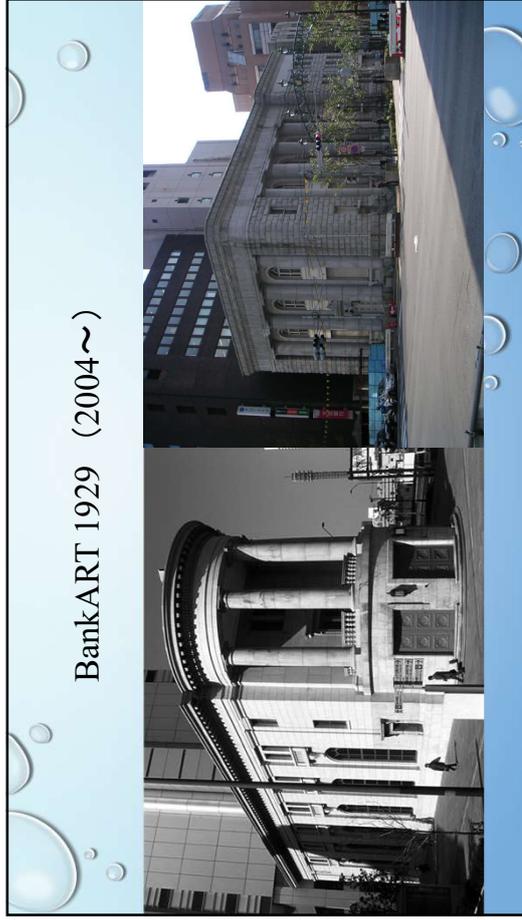
文化芸術創造都市ークリエイティブシティー・ヨコハマ
の形成に向けた提言

2004年1月14日
文化芸術・観光振興による都心部活性化検討委員会



フロリダの創造階級論を政策化

創造的人材の都心(関内)集積



BankART 1929 (2004~)

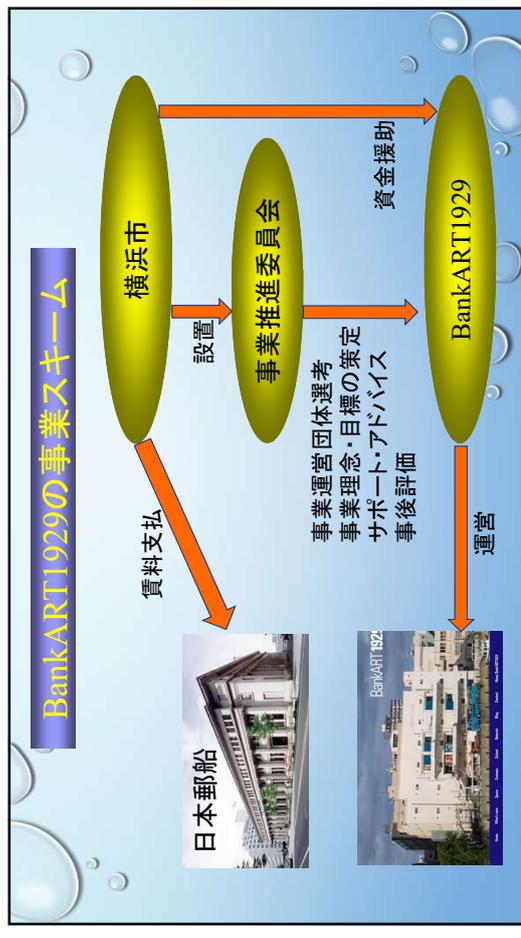
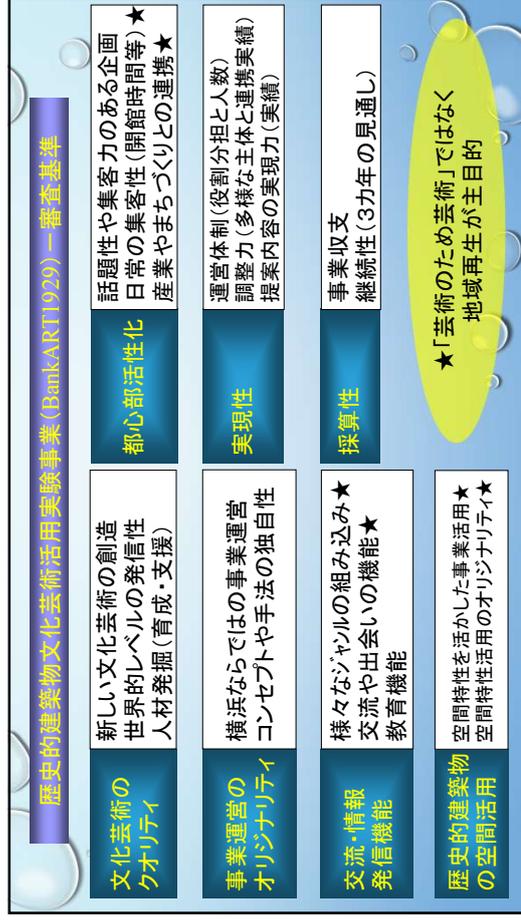
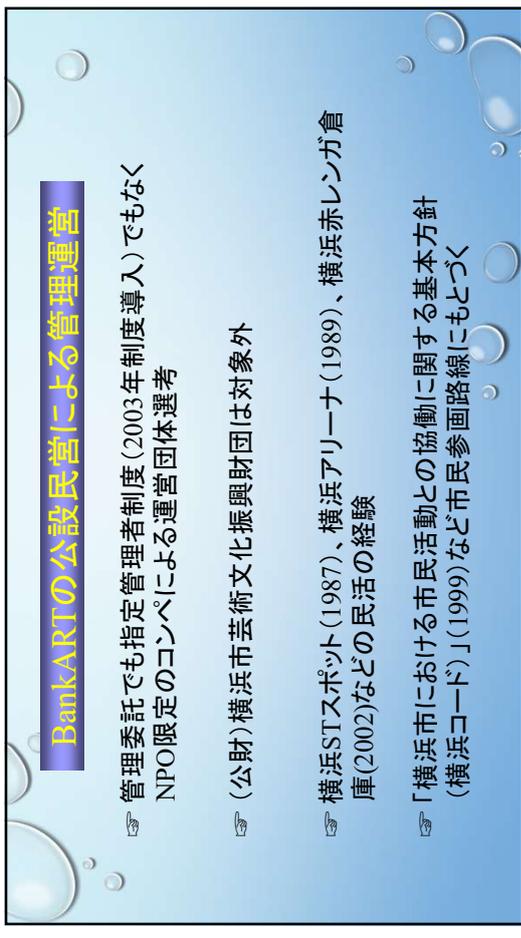
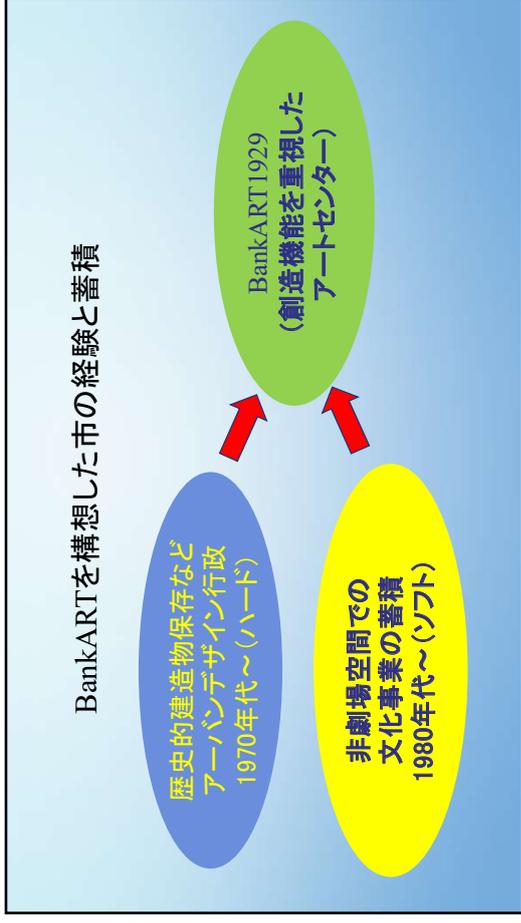


2004年-2007年

文化芸術都市創造事業本部

創造都市推進課

文化政策課



45

本町ビルシゴカイ

- 2006年11月～2022年
- 15組のデザイナー

501
502
503
401
402
403
404
405
406
407

Bent-ART 金庫室

創造空間万国橋SOKO(2006年4月～2021年9月)

- 旧大阪商船三井船舶(株)(1968年建設)
- アニメスタジオ、デザインオフィス、ファッションスクール、写真スタジオ、建築家オフィス、イベント会社などが入居
- 横浜市の「映像コンテンツ制作企業等立地促進助成制度」適用第1号

桜木町エリアへ拡大

急な坂スタジオ(2006年～)

- 旧老松会館(市営結婚式場)
- アートネットワーク・ジャパンとSTスポットが運営
- プロの演劇、ダンスカンパニーがレジデント

創造空間9001(旧東横線桜木町駅舎)
(2007年9月～2010年3月)

- 横浜市が買い取り改修工事を行った

東京芸術大学院映像研究科

映画専攻(2005年)
旧富士銀行

メディア専攻(2006年)
客船ターミナル

アニメーション専攻(2008年)
万国橋会議センター

横浜国立大学院建築都市スクールY-GSA

Yokohama Graduate
School of Architecture

2007年～(松島ビル)

横浜国立大学と横浜市の
覚書により2007年設立

山本理顕(校長)
飯田善彦
北山恒
西沢立衛



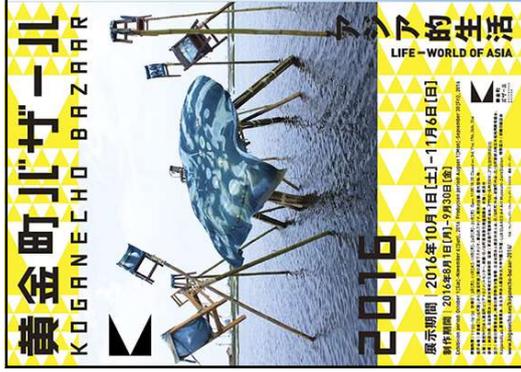
黄金町プロジェクト Kogane-cho project

京浜急行線日ノ出町駅と黄金町駅の間のカ
ード下の路地は俗に「黄金町」と呼ばれ、か
つては「ちよんの間」という約250軒の小さな
売春宿で約700～800人が客をとっていた



戦後間もない頃の黄金町は売春だけでなく、
麻薬取引のメッカでもあった。黒澤明の「天国
と地獄」でもこの街の様子が描かれている

(日コハマ経済新聞2006年12月6日)



(黄金町エリアマネジメントセンター)

(創造都市横浜)



unesco Creative Cities Network
The UNESCO Creative Cities Network (UCCN) promotes cooperation with and among cities that have identified creativity as a strategic factor for sustainable urban development.

| | | | |
|----------|--------------|------------|--------------|
| 2008 神戸市 | デザイン | 2015 丹波篠山市 | クラフト&フォークアート |
| 名古屋市 | デザイン | 2017 山形市 | 映画 |
| 2009 金沢市 | クラフト&フォークアート | 2019 旭川市 | デザイン |
| 2013 札幌市 | メディアアート | 2021 臼杵市 | 食文化 |
| 2014 鶴岡市 | 食文化 | 2023 岡山市 | 文学 |
| 浜松市 | 音楽 | | |

東アジア文化都市(2014~)
동아시아 문화도시

第5届 中韩日文化
第5届 日韓文大

1. 日中韓三国の相互理解と友好関係の促進
2. 創造産業と観光振興による持続的発展
3. 日中韓に共通する文化的基盤の強化による
平和の促進

東アジア文化都市(2014~)

| | | | | |
|--|------|------|------------|---------------|
| 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
| Yokohama (横浜) Niigata (新潟) Nara (奈良) | | | Kyoto (京都) | Kanazawa (金沢) |
| Quanzhou (泉州) Qingdao (青島) Ningbo (寧波) Changsha (長沙) Harbin (ハルビン) | | | | |
| Gwangju (光州) Cheongju (淸州) Jeju (濟州島) | | | Daegu (大邱) | Busan (釜山) |

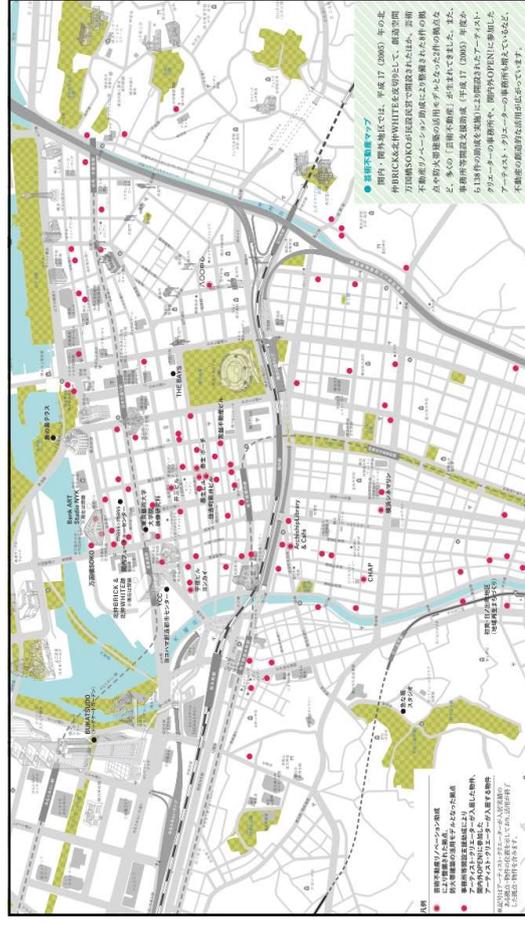
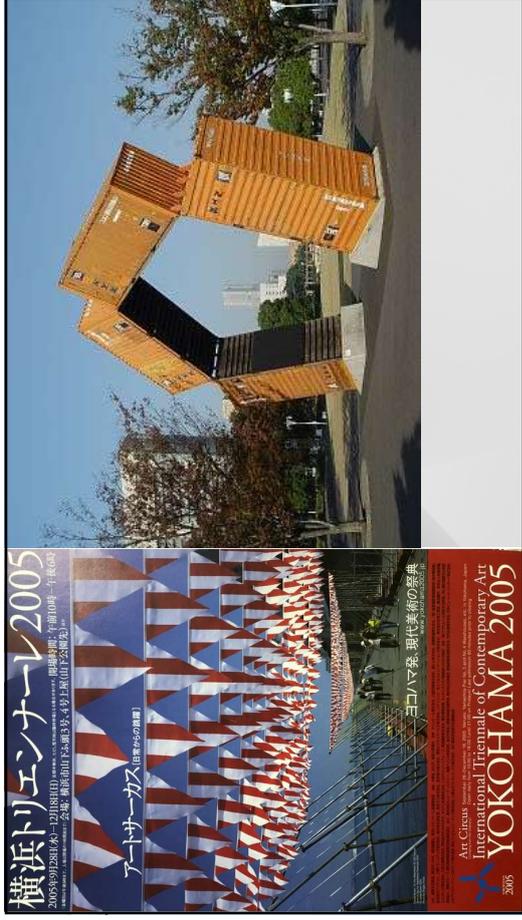
東アジア文化都市(2014~)

| | | | | | |
|------------------------------|------------------|-----------------------------|----------------|---------------------------|---------------------------|
| 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 |
| Kanazawa (金沢) Tosimaku (豊島区) | Kitakyushu (北九州) | Oita (大分県) | Shizuoka (静岡県) | Chengdu (成都) | |
| Harbin (ハルビン) | Xi'an (西安) | Yangzhou (揚州) Dunhuang (敦煌) | Jinan (済南) | Wenzhou (温州) Méizhōu (梅州) | |
| Busan (釜山) | Incheon (仁川) | Suncheon (順天) | | | Gyeongju (慶州) Jeonju (全州) |

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」



2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



Peter Hall *Cities in Civilization* (1998)

都市の本質は「創造性」である 都市の本質은 '창조성'
創造性は歴史的地理的に偏在する



©Academia Europaea

『都市と文明』佐々木雅幸監訳 I 2019年、II 2021年、III 2022年



• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술이 도시를 움직일 때 芸術が都市を動かす時

호소부치 타마키 (BankART1929 대표)

細淵太麻紀 (BankART1929 代表)



Profile

BankART1929대표 / 아티스트

BankART1929代表 / アーティスト

대표작『배를 만드는 이야기』

代表作「船をつくる話」



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BankART1929 Foundation

협력協力: BankART 1929

2025. 9. 26
「韓日文化未來カンファレンス」
◎ヒルサイドプラザ

BankART 1929

細瀬太麻紀 Tamaki Hosobuchi (BankART1929 Director - Artist)



「都市」をテーマに建築・美術を領域横断的に活動するアーティスティックグループ「国内外の美術館やギャラリーでの展示、野外でプロシエクト、コミュニケーションワーク、建築設計等活動は多岐にわたる。」

PH studio

「都市」をテーマに建築・美術を領域横断的に活動するアーティスティックグループ「国内外の美術館やギャラリーでの展示、野外でプロシエクト、コミュニケーションワーク、建築設計等活動は多岐にわたる。」

PH studio

「도시」를 주제로 건축 미술을 영역을 넘나들며 활동하는 아티스트 그룹. 국내외 미술관 및 갤러리에서의 전시, 야외 프로젝트, 공동미술, 건축 설계 등 활동은 다양하다.

(Naga Architecture Project No. 2)
1987



(Homeless House) 1992

(Story to build a ship)
1994~2005

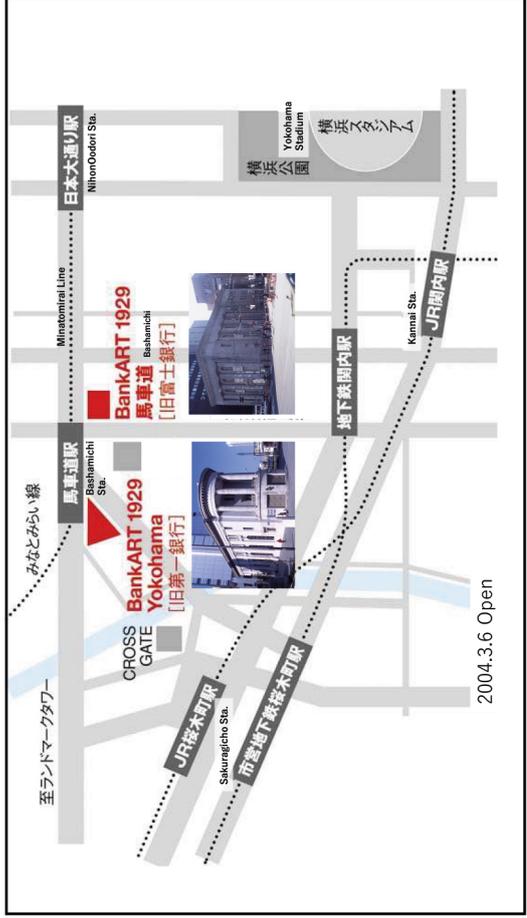


(House of Outside) 2002

2025. 9. 26
「韓日文化未來カンファレンス」
◎ヒルサイドプラザ

BankART 1929

細瀬太麻紀 Tamaki Hosobuchi (BankART1929 Director - Artist)





BankART 1929 Yokohama 2004--2008



BankART 1929 高津区 2004.3-12

BankARTの特徴 BankART의 특징

● 歴史的建造物等の活用
역사적 건축물 등의 활용

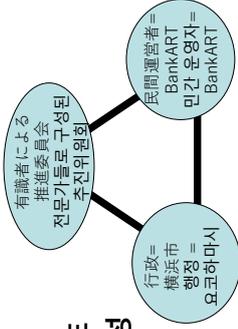
● 歴史的建造物等の活用 → 都市を活性化する
역사적 건축물 등의 활용 → 도시를 활성화하다

● 公設民営の新しい可能性
공설민영의 새로운 가능성

● 公設民営の新しい可能性
공설민영의 새로운 가능성



最終的なミッション
최종적인 미션



主催事業 주최 사업

- 構法のもの財産をリレーする
- 全館使用の大型館展（空間への意義づけ）
- 新しいアートエリアの発掘
- ヨコハマトリエンナーレなど 周辺施設との連動

BankART Café & Pub



BankART Shop



Contents Publishing



コーディネート 사업 코디네이트 사업

- スペースをお金で買う発想事業ではなく 優れたの選んだ企画に貸し出す
- BankARTが関わりコーディネートすることによって一歩先にアプローチ

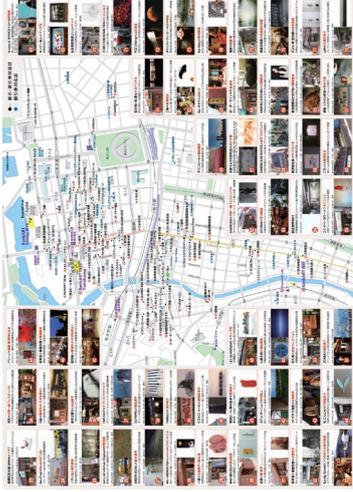
BankART School



Artist in Studio



食と現代美術 食と現代美術



周辺の飲食店56店舗に作品を展示

주변 飲食店 56 店に 作品を 전시



北仲BRICK & WHITE (旧帝産倉庫ビル) 2005.6-2006.10

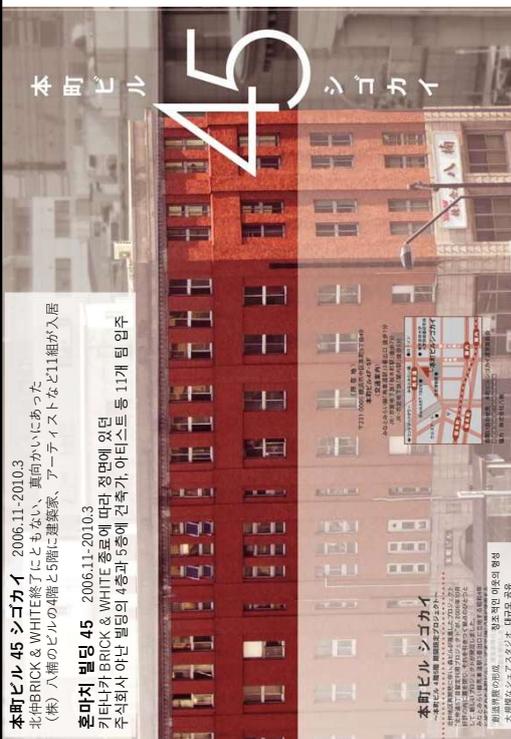
森ビルの中仲地区再開発にともなう工半駅定の集合アトリエ
53組 253名のアーティストやクリエイターが入居
自治による運営やオープンスタンスが地域に対して開放していく運営手法が確立

북나카 BRICK & WHITE(구 제산창고빌딩) 2005.6-2006.10

모리텔링의 북나카 지역 재개발에 따른 1년 반 한정 공동 아틀리에
53팀 253명의 아티스트 및 크리에이티브 영주
자치 운영 및 오픈 스튜디오 등 지역 사회에 개방하는 운영 방식 확립

前道 再開発の形態
大規模なシェアアトリエ 4棟を公開

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」



本町ビル 45 シンゴカイ 2006.11-2010.3
北仲BRICK & WHITEを終了にともない、真向かいにあった
(株)八幡のビルの4階と5階に建築家、アーテイスต์など11層が入居

혼마치 빌딩 45 2006.11-2010.3
키타나가 BRICK & WHITE 종료에 따라 정면에 있던
주식회사 아난 빌딩의 4층과 5층에 건축가, 아티스트 등 11개 팀 입주

本町ビル シンゴカイ
本町ビルは、2006年11月に竣工。建築家、アーティストなど11組が入居し、北仲ビルと向かい合わせに建てられた。2010年3月に北仲ビルが解体された。

本町ビル 45シンゴカイ 真向かいの隣街
北仲ビルが解体された後、真向かいに建てられた。

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



宇徳ビルヨソカイ 2010.9-2017.9
本町ビルシンゴカイ終了にともない、宇徳ビルの4階部分に、建築家、アーテイスต์など15組が入居

우득쿠 빌딩 45층 2010.9-2017.9
혼마치빌딩 45층 종료에 따라, 우득쿠빌딩 4층 부분에 건축가, 아티스트 등 15팀 입주

「宇徳ビル ヨソカイ」が稼働しました。

本町ビル 45シンゴカイ 真向かいの隣街
北仲ビルが解体された後、真向かいに建てられた。



ハンマーヘッドスタジアム「新・港区」 2012.5-2014.3
ヨコハマトリエンタレの会場として10年限定で建設された「新港区」を、次のトリエンターレまでの2年間に、53組の建築家やアーティストのシェアスタジアムとして活用

해머헤드 스투디오 「신·미나토구」 2012.5-2014.3
요코하마 트리엔탈리의 전시장으로 10년간 한정 건설된 「신항 피어」를, 다음 트리엔탈레까지의 2년간 53팀의 건축가 및 아티스트의 공유 스튜디오로 활용

ハンマーヘッドスタジアム「新・港区」
ヨコハマトリエンタレの会場として10年限定で建設された「新港区」を、次のトリエンターレまでの2年間に、53組の建築家やアーティストのシェアスタジアムとして活用

本町ビル 45シンゴカイ 真向かいの隣街
北仲ビルが解体された後、真向かいに建てられた。



ハンマーヘッドスタジアム「新・港区」
2012.5-2014.3

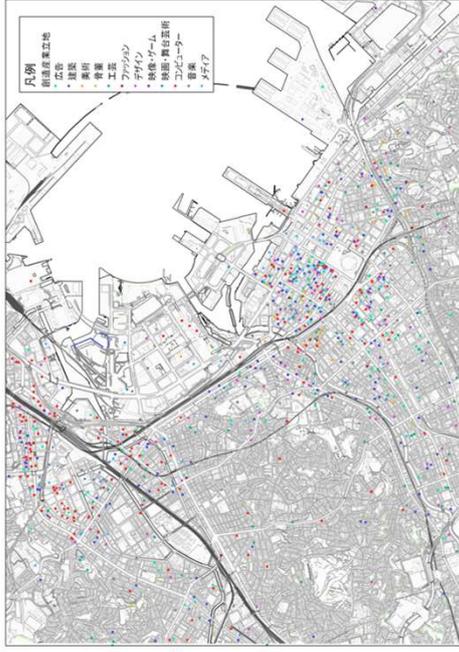
해머헤드 스투디오 「신·미나토구」
2012.5-2014.3

ハンマーヘッドスタジアム「新・港区」
ヨコハマトリエンタレの会場として10年限定で建設された「新港区」を、次のトリエンターレまでの2年間に、53組の建築家やアーティストのシェアスタジアムとして活用

本町ビル 45シンゴカイ 真向かいの隣街
北仲ビルが解体された後、真向かいに建てられた。

創造産業の集積 창조 산업의 집적

横浜市大 都市計画研究室 制作資料より
横浜市中区所管地区約1000名のクリエイティブ・アーティストが集積



続・朝鮮通信使 속·조선통신사

韓国のとの継続的な交流
한국의과의 지속적인 교류



続・朝鮮通信使 속·조선통신사



朝鮮通信使祭りへの参加@釜山 조선통신사 축제 참가@부산

2025 한일문화미래컨퍼런스
「국제 심포지움」

2011 「日韓交流の新しい可能性～朝鮮通信使を起点に」 @横浜
2011 「한일 교류의 새로운 가능성～조선 통신사를 기점으로」 @요코하마



シンポジウム 심포지엄



2015 「日韓交流の新しい可能性part2～朝鮮通信使を起点に」 @慶有
2015 「한일 교류의 새로운 가능성 part2～조선 통신사를 기점으로」 @스마리

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」

2012 新・朝鮮通信使（釜山文化財団）として釜山のアーティスト2名が韓京に滞在
金宗憲（金宗憲）氏らと共同で「釜山」の魅力を発信する



2013 海外で開催しているサントラムが韓国の音楽家とコラボ（東京アジア文化都市）
조보우지 마츠시 히라노는 韓日共同の音楽家（東京アジア文化都市）



2016 釜山にエンターテインメント・ミュージックにて世界規模の発展が起きている
釜山にエンターテインメント・ミュージックにて世界規模の発展が起きている



2013 BankART Life 4—東京アジア文化都市
BankART Life 4—東京アジア文化都市



歴史的建造物の活用
역사적 건축물 등의 활용

2004.3～2006.3 実験事業 実験 사업

BankART 1929 Yokohama
旧第一銀行 旧第一銀行

2004.3～2008.3



BankART 1929 Bashamichi
旧富士銀行 旧富士銀行

2004.3～12



**港灣倉庫 (近代遺構) の活用
항만 창고(근대 유적)의 활용**

BankART Studio NYK (元日本郵船倉庫 旧 일본우편선 창고)
1957年竣工 1957년 준공
活用期間 2005.1~2018.3
活用기간 2005.1~2018.3



原口典之 「社会と物質」 2008
하라구지 노리유키 「사회와 물질」
2008

川原 正 「Expand BankART」 2013
가와타 마사 「Expand BankART」
2013

@BankART Studio NYK



2018

BankART Studio NYK의 해체 BankART Studio NYK의 해체



**大きな施設を失い都市に分散
대규모 시설을 잃고 도시에 분산**



BankART Home (関内の飲食店街)
2018.4-2020.11



BankART SILK (シルクセンター内)
2019.2-2020.7



R16 studio (東横線跡跡高架下)
2018.8-2022.3



BankART Temporary (1年限定活用)
2020.4-2021.3

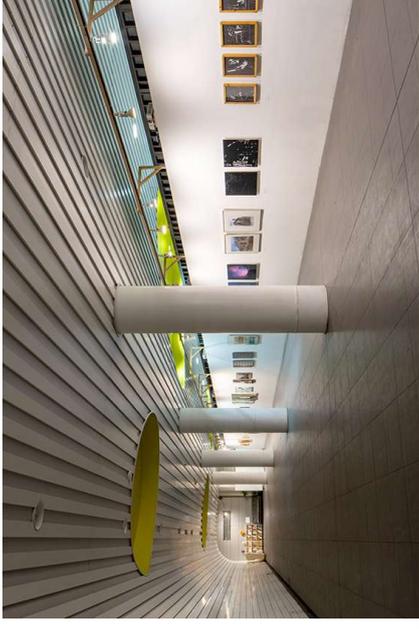
**遊休空間の活用
유휴 공간의 활용**

BankART Station 2019.2~
新高島駅 駅構内や道路用地
신타카시마역 역 구내 및 도로 용지



**遊休空間の活用
유휴 공간의 활용**

BankART Station 2019.2~
新高島駅 駅構内や道路用地
신타카시마역 역 구내 및 도로 용지



BankART KAIKO

2020.10~
旧横浜生糸検査所付属専用倉庫復元施設内
구 요코하마 비단사 검사소 부속 전용 창고 복원 시설 내



BankART의 활동현황에 대해 알아보겠습니다!
BankART의 활동현황에 대해 알아보겠습니다!
BankART의 활동현황에 대해 알아보겠습니다!

| | |
|-----|--------------|
| 총액 | 13,103,911 원 |
| 기부금 | 13,103,911 원 |
| 기부금 | 13,103,911 원 |
| 기부금 | 13,103,911 원 |

클라우드 펀딩 1300만원
챗리츠 100만원, 700만원 (50% 이상을寄付)
크라우드 펀딩 1300만원
자선 전지외 매출 7000만원 (50% 이상 기부)



BankART의 기본적인理念 BankART의 기본적인 이념

**街にひらく 都市に棲む
도시에 열려 있다 도시에서식하는**

眠っている・放棄された場所のポテンシャルを引き出す
眞摯れた風景の見え方を覚えていく
記憶が 있거나 버려진 장소의 잠재력을 끌어내다
익숙한 풍경에 대한 시각을 바꿔나간다

**高次に解く きちんとしたガリラ
고차로 풀다 이치에 맞는 게릴라**

安直な答えにはしらない
 쉽게 답을 내지 않는다

**都市の経験 리レーする構造
도시의 경험 릴레이하는 구조**

経験を積層化させ、システムを構築し、
自発的な運動体へと変化を促していく
경험을 축적하고 시스템을 구축하며
자발적인 운동체로 변화하도록 추진해 나간다



**BankART1929의
BankART1929의 앞으로는?**

**オルタナティブスペース から
아트피크 사이트 へ**

From the Alternative Space To the Atopic Site

대안 공간으로부터 아트픽 사이트로

아트피크 (atopic) は、トピック (topic) = 固有の場所 の否定形
「どこでもない場所」 「場所を特定しない」

아트픽(atopic)은 토픽(topic) = 고유 의 장소의 부정형
「어디에도 속하지 않는 장소」 「장소를 특정하지 않는」

Background: Red with white text and images.

Setouchi



**瀬戸内国際芸術祭2025
Setouchi Triennale 2025**

**「高見島アートトレイル」
TAKAMISHIMA ART TRAIL**

| Autumn | 2025.10.3 - 11.9



Direction: BankART 1929
参加作家: 淺井郁介, 橋本雅也, 谷本真理, 保良雄
中谷ミチコ, 大塚悠介, BankART1929+PHスタジオ
Artists: Yusuke ASA, Toko IZUMI, Masaya HASHIMOTO,
Mari TANIMOTO, Takeshi YASURA,
Mitsuhiko MAKATANI+Yusuke OMURO, BankART1929+PH
Studio

Background: White with images and text.

Setouchi



Setouchi



Yusuke ASAI



BankART1929+PH studio

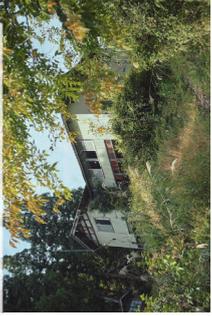


Masaya HASHIMOTO



Echigo-Tsumari

2006~
BankART 兼有 桐山の家
BankART Tsumari Kiriyama House





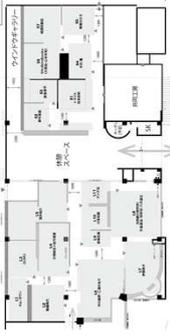
Echigo-Tsumari





Yokohama Minatomirai

EXPlot Studio




シェアスタジオの運営 공유 ス튜디오 운영
異なる分野とアートの結節点として
それぞれの分野のコーディネーターと協働
してプログラムを推進する

서로 다른 분야와 예술의 접점으로서
각 분야의 코디네이터와 협력하여
프로그램을 추진한다

アート X 企業 科学 福祉 大学 街
예술 X 기업 과학 복지 대학 도시

Yokohama Minatomirai



Yokohama Minatomirai



2025年公募選出 四方謙一 2025년 공모 선정 사방 겐이치
Exhibition Period : 2025.12.5-2026.3.29

Busan KOREA

続・朝鮮通信使
속·조선통신사

日韓国交正常化60周年 한일 국교 정상화 60주년
朝鮮通信使を基点とした交流事業 조선통신사를 기점으로 한 교류 사업
釜山文化財団 부산문화재단
パートナーとして協働 파트너로서 협력



Akita



旧町役場を改装した「北のくらし研究所」
に運び込まれた書籍154箱

旅するライブラリー (仮)
여행하는 도서관 (가정)

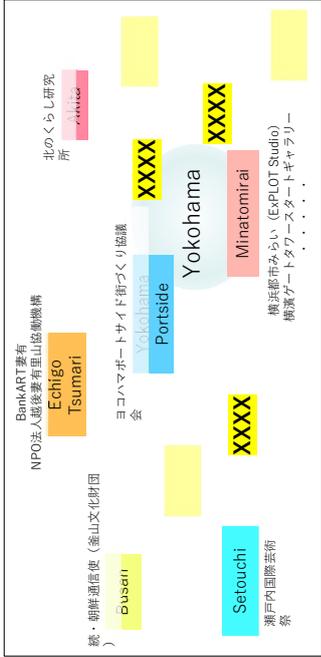


BankART Studio NYK
のライブラリー
参考:韓国に川のLBDF
厩台研究家の下寺孝典氏に
移動本箱を設計依頼

オルタナティブスペースからアトピックサイトへ

From the Alternative Space
To the Atopic Site

대안 공간으로부터 아토픽 사이트로



都市にとってアートとは? 도시에게 예술이란

- もの見方を変える (考え方、捉え方のヒント)
 完成の価値観の先にあるもの 「高次に解く」
- 答えを提示するものでなく問いを提示するもの
- サードプレイス (居場所)
- 関係を構築するための具体的な開口部
 - 事例をバリ보는 시각を 바꾸る こと(생각과 인식의 힌트)
 기존 가치관의 너머에 있는 것 · 고차원적으로 풀어내는 것
 - 답을 제시하는 것이 아니라 질문을 제시하는 것
 - 서드 플레이스(머무를 곳)
 - 관계를 구축하기 위한 구체적인 개구부

• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

예술과 문화를 통한 신뢰 구축과 국제 평화 芸術文化を通じて築く信頼と国際平和

요시모토 미츠히로 (합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄)

吉本 光宏 (合同会社文化コモンズ研究所代表・研究統括)



Profile

합동회사 문화커먼즈연구소 대표·연구총괄
合同会社文化コモンズ研究所 代表・研究統括

일반재단법인 나가노현 문화진흥사업단 이사장
一般財団法人長野県文化振興事業団 理事長



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



협력協力: BankART 1929

芸術文化を通じて築く信頼と
国際平和

Trust built through arts and Culture and
World Peace

吉本光宏 | 文化commons研究所
YOSHIMOTO Mitsuhiro, Co-founder and Director, Institute for Culture Commons

今日お話ししたいこと
Today's Topics

1. 釜山国際文化フォーラム2023
Busan International Cultural Forum 2023
2. 世界都市文化フォーラム
World Cities Cultural Forum

1.

釜山国際文化フォーラム 2023
Busan International Cultural Forum 2023

芸術文化は、どのような形で、対立する近隣諸国の平和を回復し、
世界を変えられるか？

How can arts and culture change the world by restoring peace
between conflicting neighboring countries?

Why art and culture for
global peace?

なぜ国際平和に芸術文
化が必要なのか

1

Arts and culture are capable of
international exchange **independent of**
politics and economics.

芸術文化は政治や経済から独立した
国際交流が可能である

National power and economic strength
are the seeds of competition or strife, but
there is **no competition in arts and culture.**

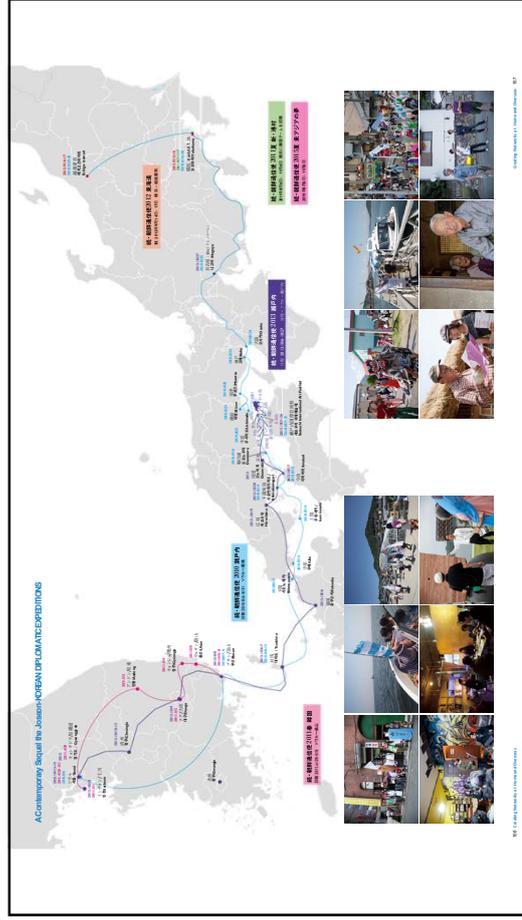
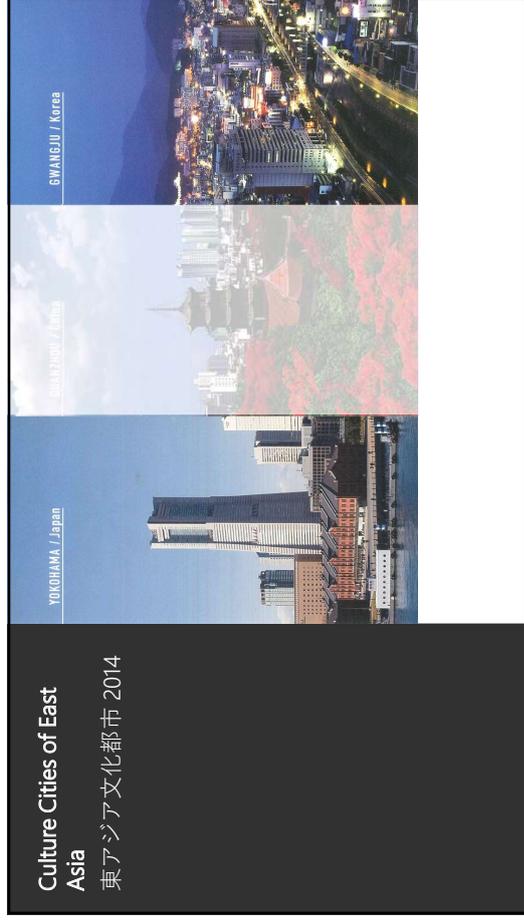
国力や経済力は競争や紛争の種になるが、
芸術文化には競争がない

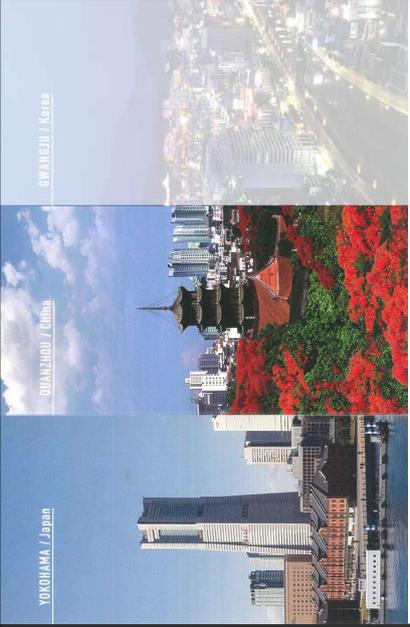
Why art and culture for
global peace?
なぜ国際平和に芸術文
化が必要なのか

2

Arts and culture are **essential to the**
increasingly important **city to city**
exchanges.

芸術文化は重要性の高まりつつある
都市間の相互交流に不可欠である





YOKOHAMA, Japan
QUANZHOU, China
SINGAPORE, Singapore

Culture Cities of East Asia 2014
東アジア文化都市2014

Exchange of culture and artists is "a pathway for souls to come and go."
Haruki MURAKAMI

魂の行き来する道筋
村上春樹

a pathway for souls to come and go
Haruki MURAKAMI



「文化の交換は『我々はたとえ話す言葉が違っても、基本的に感情や感動を共有し合える人間同士なのだ』という認識をもたらすことをひとつの重要な目的にしている。それはいわば、国境を越えて魂が行き来する道筋なのだ」

Cultural exchange aims to foster the recognition that "even if we speak different languages, we are fundamentally human beings who can share emotions and inspiration." It is, in a sense, a pathway for souls to travel across borders.

「魂が行き来する道筋を塞いでしまってはならない。その道筋を作るために、多くの人々が長い歳月をかけ、血の滲むような努力を重ねてきたのだ。そしてそれはこれからも、何があろうと維持し続けなくてはならない道筋なのだ」

We must not block the path where souls come and go. Countless people have spent long years and made blood-stained efforts to create that path. And it is a path that must be maintained no matter what happens, forevermore.

明日新聞 朝刊(2012年9月28日)

Why art and culture for global peace?
なぜ国際平和に芸術文化が必要なのか

3

Culture fosters deep friendship and trust between people, especially between individuals.
文化は人々の間に、とりわけ個人と個人の間
深い友情関係を育む

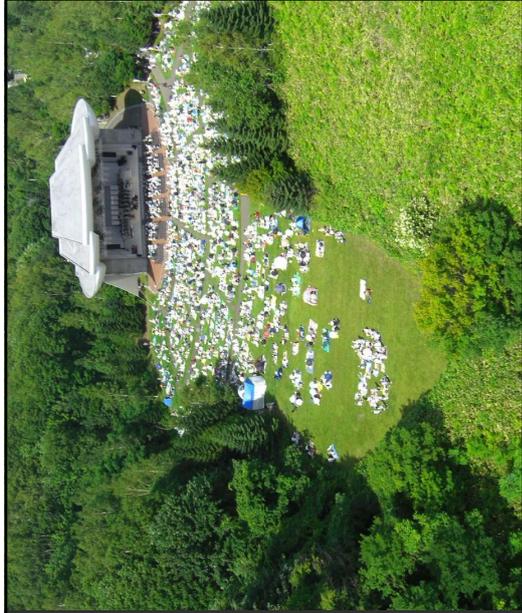
Individuals, understanding each other through culture, and respecting each other's differences are the cornerstones of peace.
個人同士が、文化を通して理解し合い、互いの違いを認め合うことが、平和の礎である

Pacific Music Festival Sapporo



© PACIFIC MUSIC FESTIVAL ORGANIZING COMMITTEE

2025 韓日文化未来カンファレンス
「국제 심포지움」



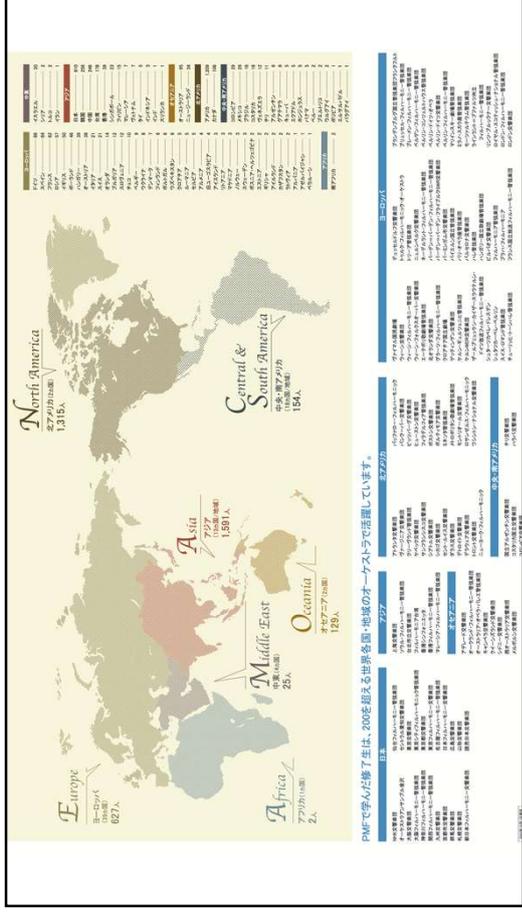
Pacific Music Festival
Sapporo




Sapporo
Beijing

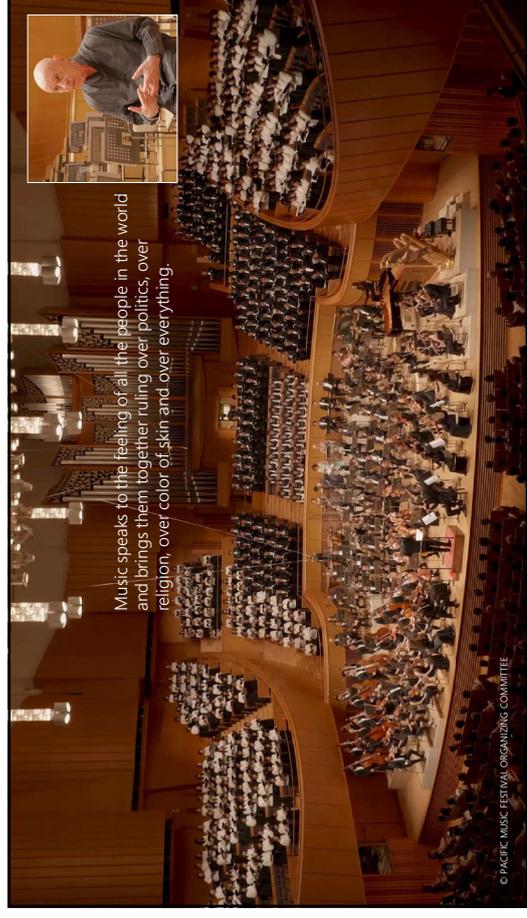
© PACIFIC MUSIC FESTIVAL ORGANIZING COMMITTEE

2025 韓日文化未来カンファレンス
「国際シンポジウム」



PMFで参加した国は、2005年 迎える世界各國・地域のオーケストラで活躍しています。

| 地域 | 参加年 |
|-----------|--|
| 北アメリカ | 1987, 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| 南アメリカ・中央部 | 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| アジア | 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| 中東 | 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| オセアニア | 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| ヨーロッパ | 1987, 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |
| アフリカ | 1991, 1995, 1999, 2003, 2007, 2011, 2015, 2019, 2023 |



Why art and culture for global peace?

なぜ国際平和に芸術文化が必要なのか

1. **independent of politics and economics;**
政治や経済から独立していること

2. **essential for city-to-city exchanges; and**
都市間交流に不可欠なこと

3. **creating deep trust between individuals.**
個人同士の深い信頼を育むこと

2.

World Cities Culture Forum 分断 [新型コロナ、国際紛争] と向き合う Confronting the Divide, Covid-19 and Conflict

Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

- 2012年8月1日：ロンドン>2012大会の文化プログラムとしてロンドン市によって創設（8都市が参加）
- World Cities Culture Report 2012発表（12都市）
- 世界中が注目するロンドン五輪において、これからの都市政策における文化の重要性をアピール
- Aug. 2012: Held by the City of London as one of the Cultural Olympiad (8 cities joined)
- Launch of World Cities Culture Report 2012 of 12 cities
- Appealing the importance of culture in future policy of world cities at London 2012 Olympics



WORLD CITIES CULTURE REPORT

Berlin
Istanbul
Johannesburg
Kuala Lumpur
Mumbai
New York
Paris
Sao Paulo
Singapore
Sydney
Tokyo

Findings you would expect

- London has the most museums
- NY has the most dance performances
- **Tokyo has the most video games arcades**
- Paris has the most film festivals
- Sao Paulo has the most night clubs
- London has the most international students
- Mumbai releases the most films
- London and Paris have the most world Heritage sites

Findings you would **not** expect

- London screens the most foreign films
- Shanghai publishes the most books
- NY has the most book loans by public libraries per year
- Joburg has the most rare and second hand bookshops
- **Tokyo has the most restaurants/Michelin stars**
- Sydney has the second highest % of foreign born population
- Singapore and Sydney have the most parks and gardens
- **Tokyo has the most non-professional dance schools**
- Istanbul far exceeds on other heritage and historical sites

Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

- 2013年イスタンブールがWCCF Summitを開催し、以降、会員都市で毎年開催
- 会員：2012年8都市→2020年43都市
- 2020年2月：新型コロナウイルス感染症
- 2020年10月ミラノ開催予定→Covid-19で中止
- WCCF Summit 2013 in Istanbul followed by member city every year
- Member cities: 6 in 2012 → 45 in 2025
- Feb. 2020: Covid-19
- Milano Summit scheduled in Oct. 2020 suspended due to Covid-19



Abu Dhabi | Amsterdam | Austin | Barcelona | Bogotá | Brasilia | Brussels | Buenos Aires | Cape Town | Chengde | Dublin | Edinburgh | Guangzhou | Helsinki | Hong Kong | Istanbul | Lagos | Lisbon | London | Los Angeles | Melbourne | Milan | Montreal | Moscow | Nanjing | New York | Oslo | Paris | Rome | San Francisco | Seoul | Shanghai | Shenzhen | Singapore | Stockholm | Sydney | Taipei | Toronto | Vancouver | Vienna | Warsaw | Zurich

Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

- 2020.3.20 : Justine Simons (Chair of WCCF, ロンドン市副市長) からE-mailでZoom meetingへの参加呼びかけ
- 3.26以降、ほぼ毎週に回線(1回10分) 隔午前/午後開催 (時差対応)
- Justine Simons, Chair of WCCF, call for online meeting to the member cities on 20 March.
- Digital dialogue every two weeks

Zoom Meeting による情報共有と意見交換 (2週間に1回)

3/26 ミラノ市プレゼンテーション
4/3 アジア地域の都市からのブリーフィング
Bloomberg PhilanthropiesからNYの対応策のブレゼン/閉鎖から開放へ/新型コロナウイルス後の文化リズム/再開の先の課題/自信の回復に向けて/不確実性に対する計画/リスクにさらされる文化/施設と芸術/文化のための空間/新型コロナウイルスと公共空間/コロナとナイトタイム・エコノミー.....
→ 各回のブリーフィング、新型コロナウイルス対応策データベース構築

WCCF DIGITAL DIALOGUE: CITY WEBINARS (every two weeks)

26 March View from Milan
3 April View from Asian cities

Spotlight on philanthropy/ Planning for recovery/ Unlocking culture in cities/ Cultural tourism in post-COVID world/ The challenges beyond reopening/ Building Back Confidence/ Planning for uncertainty/ Is all culture at risk equally?/ Adaptations and Innovations/ Making Space for Culture/ COVID-19 and the Public realm/ COVID and the Night-time Economy.....
→ Briefing, Database of Supports and Policies to the Cultural Community

Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

ヴァーチャル→オンライン→**オンライン・リアル**←リアル
Internet
2020年代：Zoom, Hangout, Teams etc. ← 90年代
新型コロナウイルスが出現させた新たな国際文化交流の空間
世界中の都市が新型コロナウイルスと向き合っている連帯感

Virtual → Online → **Online-Real** ← Real
Zoom, Hangout, Teams etc. in 2020's ← Internet in 90's
New Space for International Cultural Community Caused by Covid-19
Solidarity that all the cities on this globe facing and tackling Covid-19

Global Conversation: one-day digital conference
On culture, COVID-19 and cities
29 October, 2020
© World Cities Culture Forum

Global leadership on culture in cities

WCCF Conference: Global Conversation

From Crisis to Recovery: Creative Leadership for a Sustainable Future

4 November 2021 — Updated Digital Programme Overview

Session 1 (8 AM GMT) *Mitsuhiko Yoshida*

Session 2 (11.30 PM GMT) *Mitsuhiko Yoshida*

Session 3 (4.30 PM GMT) *Miyazaki Panel* (7 PM GMT)

WCCF CONFERENCE: GLOBAL CONVERSATION

Parallel Breakout 2.1

Funding Culture: Radical Models for the Post-COVID Recovery

Global leadership on culture in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

- ほぼ2週間に一回ロンドン時間午前/午後開催 (時差対応)
- 2021.11: オンライン・サミット開催 (英国時間: 午前8時~午後9時)
- Digital dialogue every two weeks from 8 am to 9 pm GMT

Global leadership on culture in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

- ほぼ2週間に一回ロンドン時間午前/午後開催 (時差対応)
- 2022.10: ロシアのウクライナ侵襲
- 2023.7: キーワードWCCF加盟
- 2023.10: サノバワロ・サミット開催
- 2023.11: モネタワ委員会資格停止
- Digital dialogue every two weeks
- Feb. 2022: Russian invasion to Ukraine
- Oct. 2022: WCCF Summit in Helsinki
- Jul. 2022: Kyiv joined WCCF
- Oct. 2023: WCCF Summit in Sao Paulo
- Nov. 2023: Moscow suspended from WCCF

Abu Dhabi | Amsterdam | Austin | Barcelona | Bogotá | Brasilia | Brussels | Buenos Aires | Cape Town | Chengdu | Dublin | Edinburgh | Helsinki | Hong Kong | Istanbul | Lagos | Lisbon | London | Los Angeles | Melbourne | Milan | Montreal | Moscow | Nanjing | New York | Oslo | Paris | Rome | San Francisco | Seoul | Shanghai | Shenzhen | Singapore | Stockholm | Sydney | Taipei | Tokyo | Toronto | Vancouver | Vienna | Warsaw | Zurich

| CITIES | BRUSSELS | HAMBURG | LOS ANGELES | RIO DE JANEIRO | TORONTO |
|-----------|-----------|-----------|-------------|----------------|-----------|
| AMSTERDAM | CHENGDU | CHICAGO | MELBOURNE | SAN FRANCISCO | VANCOUVER |
| AUSTIN | COLOGNE | DUBAI | MILAN | SÃO PAULO | VIENNA |
| BARCELONA | DUBLIN | HONG KONG | MONTREAL | SEOUL | WARSAW |
| BEIJING | EDINBURGH | ISTANBUL | NANJING | STOCKHOLM | ZÜRICH |
| BENGALURU | GUANGZHOU | JAKARTA | NEW YORK | SYDNEY | |
| BOSTON | | KYIV | OSLO | TAIPEI | |
| BRASILIA | | LISBON | PARIS | TOKYO | |

Our Vision
We are building a world where culture is at the heart of thriving cities.

Our Mission
We are civic leaders sharing our best ideas and designing culture policies that change lives. World Cities Culture Forum is a network of more than 40 global cities spanning six continents. Together, we are meeting the challenges of the 21st century by placing culture at the heart of city planning and investment.

Our Values
We believe in the power of culture to transform people, place and planet. We empower global civic leaders to create the equitable, prosperous and sustainable global cities of the future. We are generous with our ideas and collaborate to drive change.

ビジョン
私たちは、文化が繁栄する都市で中心的な役割を果たす世界を築きます。

使命
私たちは、最高のアイデアを共有し、生活を改善する文化政策をデザインする市民のリーダーです。世界都市文化フォーラムは、6大陸にまたがる40以上の世界都市のネットワークです。私たちは協働して、文化を都市の計画と投資の中心に据えることで、21世紀の課題に取り組んでいます。

価値
私たちは、文化が人々と地理、世界を変える力を有していることを信じています。私たちは、未来の公平で健全な持続可能なグローバル都市を創造するために、グローバルな市民リーダーを支援します。私たちはアイデアを惜しまず提供し、協働して変革を推進します。

CULTURE, COURAGE AND LEADERSHIP FOR A NEW WORLD

WORLD CITIES CULTURE FORUM

São Paulo SUMMIT 2023

October 24-28

SÃO PAULO SÃO PAULO

Global leadership on **culture** in cities

WORLD CITIES CULTURE FORUM

São Paulo SUMMIT 2023
October 24-28

Session Themes

- Accessibility in the arts
- Arts, health and wellbeing
- Indigenous voice
- LGBTQ+ communities
- The gender gap
- Race and representation
- The future of Justice: Can culture prevent crime?
- Artificial intelligence and the creative industries.....and so on.

Launch of the World Cities Culture Forum Sao Paulo Manifest for culture to become a UN Sustainable Development Goal post 2030

Plenary: Culture in conflict
Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council
Justine Simons, Founder and Chair of WCCF and Deputy Mayor for Culture and the Creative Industries, City of London

“Two years of full-scale war... For each Ukrainian it's a lifetime, with every day etched in memory forever”

「2年間にわたる全面戦争は、ウクライナ人にとって一生涯の時間であり、一日一日が永遠に記憶に刻まれる」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council
Source: Ella Kenny, KYIV'S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

World Cities Culture Forum

문화를 위한 지속가능발전목표 : 상파울루 선언문

세계 최고 수준의 도시이며 World Cities Culture Forum는 WCCF로서, 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

지속가능발전 목표의 중요성을 강조하는 이유

문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성은 지속가능발전의 핵심 요소이다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

지속가능발전 목표의 중요성을 강조할 수 있는 것들

문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성은 지속가능발전의 핵심 요소이다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

World Cities Culture Forum

文化における目標:サンパウロ宣言

문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

왜 문화에 특화한 목표를 설정하는가?

문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성은 지속가능발전의 핵심 요소이다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

문화 목표가 실현되는 이유는?

문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성은 지속가능발전의 핵심 요소이다. WCCF는 문화, 관광, 예술, 건강, 웰빙, 그리고 사회적 포용성을 위한 2030 지속가능발전목표(SDG)를 지원하는 것을 목표로 하고 있다.

1. caring for culture and heritage
2. how is culture used as a weapon in war?
3. the role of culture to heal and recover from conflict

1. 文化と遺産の保護
2. 戦争における武器としての文化
3. 戦禍を癒し、回復するための文化の役割

1. 文化と遺産の保護
Caring for culture
and heritage

- 記念碑を土囊で保護
- 主要な美術館の収蔵品約100万点を地下に移動
- 2022年5月には文化事業が再スタート
- 蠟燭の中での劇場公演

2. 戦争における武器と
しての文化
How is culture used
as a weapon in war?



“It is culture that helps us to resist and keep going. Theatres tell the story of the horrors of war, museums collect evidence of today’s history written with our blood, and libraries become places of refuge and emotional relief”

「私たちが抵抗し、前進し続けることができるのは文化のおかげです。劇場は戦争の恐怖を語り、博物館は私たちの血で書かれた今日の歴史の証拠を集め、図書館は避難所となり、精神的な安らぎの場となります」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council
Source: Ella Kenny, KYIV’S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

“It’s not just a war to deprive our territories and freedom, but to change our identity, falsify our history and wipe out Ukrainian culture and language”

「これは、私たちの領土と自由を奪うためだけの戦争ではなく、私たちのアイデンティティを変え、歴史を改ざんし、ウクライナの文化と言語を消し去るための戦争なのです」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council
Source: Ella Kenny, KYIV’S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

3. 戦禍を癒やし、回復
するための文化
the role of culture to
heal and recover from
conflict

- 病院や前線に向くアーティスト
- ロシアアーティスト→ウクライナ人アーティスト
- 文化から戦争の真実を伝える

“It is culture healing souls and giving hope
in these dark times of pain, losses, constant
attacks and air sirens”

「痛みや喪失感、絶え間ない攻撃やサイレン
が鳴り響く暗い時代に、魂を癒し、希望を与
えてくれるのが文化なのです」

Victoria Mukha, Chairman of the Commission on Culture, Tourism and Communications at Kyiv City Council
Source: Ella Kenny, KYIV'S CULTURAL RESISTANCE: CULTURE INSPIRING HOPE, RESILIENCE AND RECOVERY

ウクライナ・トカチェンコ文化情報相：ゼレンスキー大統領と意見が対立、2023年7月に解任

「ウクライナ議会は7月27日、戦時下の国家予算のあり方をめぐってゼレンスキー大統領と意見が対立していたトカチェンコ文化情報相の解任案を可決」 「解任案の可決を受けてトカチェンコ氏は27日、SNSで『文化にお金を出すのは戦時下では適切ではないと言っているのは簡単だが、われわれは自分たちの文化やアイデンティティなどのために戦っているのではないのか。戦時下では文化は無人情と同じくらい重要だ』などと訴えました」

NHK NEWS WEB (2023.7.28) 「ゼレンスキー大統領と対立の関係 ウクライナ議事が解任案可決」

「私は、そのセッションに参加して、プーチン大統領の強行への憤りを新たにし、キーウやウクライナへの連帯の気持ち強く抱いた。だが、ホテルに戻って私はモスクワの二人の友人のことを思い出した。実は、モスクワも2014年にWCCFの会員になり、2016年には年次サミットを開催していた。モスクワから毎年参加していた二人の文化担当者は、東京や日本の文化に関心があって友人と呼べる存在になっていた。」

日本光宏 「戦争、それは文化と言語を消し去る行為」 文化コモンズ選集05号 (2024.3.6)

「2022年2月、ロシアがウクライナに侵攻して間もない頃、モスクワ市民の中には、プーチン大統領の戦争に反対する人も少なくない、というニュースを見て、私は、二人にメールを送ってみた。一人からは『今は、何も語れない』という返事があり、もう一人から返信はなかった。

それからしばらくして、同年11月にWCCFはモスクワの会員資格を停止 (Suspended) した。当然の措置だと思うし、ロシアが起こした戦争は決して許すことができない。でも、そのことが私がモスクワの二人を友人と感じる気持ちは別物だ。個人の意思に関係なく、戦争は人と人の間に超えがたい分断をもたらす。」

「日本に帰国した後も、サンパブロで聞いた話が頭を離れなかったが、ほどなくして日本もかつてロシアがウクライナにしようとしていたことと同じことを、朝鮮や韓国にした史実を思い出した。1910年の日韓併合とその後の朝鮮の植民地支配である。日本は朝鮮総督府を置き、朝鮮教育令によって日本語が国語として教えられた。」

日本光宏 「戦争、それは文化と言語を消し去る行為」 文化コモンズ選集05号 (2024.3.6)

ありがとうございました。
감사합니다

• 발제 發題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

세계가 기억하는 평화와 연대

조선통신사, 예술로 경계를 넘고 연결하다 유네스코와 문화인류학의 시점

世界が記憶する平和と連帯

朝鮮通信使、芸術で境界を越えつなぐユネスコと文化人類学の視点

한경구 (전 유네스코한국위원회 사무총장)

ハン・キョング (前ユネスコ韓国委員会事務総長)



Profile

문화인류학자
文化人類學者

전 유네스코한국위원회 사무총장
元 유네스코 한국위원회 사무총장

전 서울대학교 자유전공학부 교수
元 ソウル大学自由専攻学部教授



문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BUSAN CULTURAL FOUNDATION

협력協力: BankART 1929

세계가 기억하는 평화와 연대
世界が記憶する平和と連帯
조선통신사, 예술로 경계를 넘고 연결하다
朝鮮通信使、芸術で境界を越えつなぐ
유네스코와 문화인류학의 시점 -
ユネスコと文化人類学の視点 -

2025 韓日文化 未来 Conference

2025年9月26日

東京 代官山 ヒルサイドテラス

한경구 韓敬九 (한키요크)

- 문화인류학 전공, 일본 현지조사 경험
- 文化人類学専攻、日本でのフィールドワーク経験
- 강원대 인류학과, 국민대 국제학부 일본학 전공
- 江原大学 人類学科, 国民大学 国際学部 日本学専攻
- 서울대 자유전공학부 교수
- ソウル大学 自由専攻学部 教授
- 세계시민교육, 문화 간 이해, 문화다양성
- 世界市民教育、異文化理解、文化多様性
- 유네스코 한국위원회 사무총장
- ユネスコ韓国委員会 事務総長



통신사에 대한 관심 - 지적 호기심 通信使への関心・知的好奇心

- 개인사적 관심
- 個人的な関心
- 가족사적 관심 - 7대조, 6대조, 5대조의 중국 사행
- 家族的な関心 - 七代祖、六代祖、五代祖の中国への使行
- 유학에서 귀국 후 <해행총재> 번역본 읽기 시작
- 留学から帰国後、『海行摠載』を読み始める
- 동아시아 내의 Orientalism, 문화와 권력
- 東アジアにおけるオリエンタリズム。文化と権力

다섯 가지 주제 五つのテーマ

- 조선통신사 기록물은 유네스코 유산 중 가장 유네스코 가치에 부합
- 朝鮮通信使の記録物は、ユネスコ遺産の中で最もユネスコの価値に合致する
- 문화교류 통한 평화 만들기 文化交流を通じた平和創出
- 민간 차원의 공감과 연대 民間レベルでの共感と連帯
- 유네스코 유산 제도의 미래를 이끌어내자
- ユネスコ遺産制度の未来を引き出そう
- 무엇을 할 것인가? 세계적 평화교육의 가능성
- 何をすべきか？世界的な平和教育の可能性

1. 가장 '유네스코스러운' 유산

1. 最も「ユネスコらしい」遺産

- 통신사 기록물은 유네스코 세계기록유산 570건 가운데 유네스코의 설립 목적, 유네스코 유산 제도의 취지에 가장 잘 부합 朝鮮通信使の記録物は、570件のユネスコ世界記録遺産の中で、ユネスコの設立目的や遺産制度の趣旨に最もよく合致する
- 민간 주도로 국제공동등재 추진 民間主導で国際共同登録推進

유네스코 정신과의 연결

ユネスコ精神とのつながり

- 전쟁은 인간의 마음에서 시작 戦争は人間の心から始まる
- 항구적 평화는 인류의 '지적·도덕적 연대' 위에서만 지속 恒久的な平和は、人類の「知的・道徳的連帯」の上でのみ持続する
- 조선통신사 기록: 문화교류를 통한 무지와 편견 극복, 이해와 존중 실현 朝鮮通信使の記録：文化交流による無知と偏見の克服、理解と尊重の実現

문화교류의 핵심

文化交流の核心

- 외교사절이면서도 예술·지식 교류에 집중
- 外交使節でありながらも、芸術・知識交流に集中
- 일본 지식인층 성장, 비공식 교류 확산
- 日本の知識人層の成長、非公式交流の拡大
- 상호 존경과 학문·예술 발전에 기여
- 相互の尊敬と学問・芸術の発展に寄与

2. 문화교류를 통한 평화 만들기

2. 文化交流による平和の創出

- 전쟁 후 평화 정착의 200년
- 戦後、平和 定着の200年
- 조선과 일본, 문화교류를 통한 신뢰 형성
- 朝鮮と日本、文化交流を通じた信頼の構築
- 세계사에서도 보기 드문 장기적 문화외교
- 世界史でも珍しい長期的な文化外交

조선통신사의 임무

朝鮮通信使の任務

- 국서 교환이 공식 목적
- 国書の交換が公式な目的
- 실제로는 학문·예술·의학·음악 교류 중심
- 実際には学問・芸術・医学・音楽の交流が中心
- 막부의 위신과 정치적 안정
- 幕府の威信と政治的安定
- 조선의 안보에도 중요
- 朝鮮の安全保障にも重要

긴장과 갈등 속의 문화교류 - 緊張と葛藤の中の文化交流

- 절차 갈등, 사전 합의 무시 등 위기 존재
- 手続きの対立、事前合意の無視など危機の存在
- 문명화와 내조의 동상이몽 - 알면서도 모르는 적
- 文明化と内助の思惑のすれ違い - 知りながら知らぬふり
- 무리한 요구의 집요한 반복, 애원과 위협
- 無理な要求の執拗な繰り返し、哀願と威嚇
- 그러나 긴장 극복 → 외교적 신뢰 유지
- しかし緊張を乗り越え、外交的信頼を維持
- 갈등과 장애를 넘은 교류의 지속.
- 葛藤や障害を乗り越えた交流の継続
- 소중한 아름다운 기록
- 貴重で美しい記録

조선통신사 - 문화와 평화?! -

朝鮮通信使 - 文化と平和?!

- 호화롭고 평화로운 교류, 그러나 豪華で平和な交流...しかし
- 긴장과 갈등. 사행은 위험한 임무 緊張と葛藤. 使行は危険な任務
- 어떠한 평화? 이かなる平和か?
- 전쟁의 종식. 사행의 시작과 중단. 戦争の終結. 使行の開始と中断.
- 정찰. 확인. 偵察. 確認.
- 오해와 이해 - 모른척하기? 誤解と理解 - 知らぬふり?
- 오랑캐. 武의나라를 교화, 문명화 野蠻人. 武の国を教化・文明化
- 조공국의 내조(來朝)라는 선전. 朝貢国の來朝という宣伝
- 조선의 문명의 오만과 일본의 올분 朝鮮の文明の傲慢と日本の憤り

평화롭지만은 않았던 평화 必ずしも平和ばかりではなかった平和

- 筆談唱和, 대결의 장이기도. 対決の場でもあった
- 아슬아슬한 상황들 ぎりぎりの状況
- 대마도주에 대한 질 거부. 대마도주 불참으로 해결되다. 対馬藩主への拝礼拒否. 対馬藩主の不参加によって解決
- 대불사 연회 거부. 일본측의 거짓 해명. 종사관 불참. 大仏寺宴会拒否. 日本側の虚偽の説明. 従事官の不参加
- 예정에 없던 다툼 방문 강징(1636) 予定になかった日光訪問の強請
- 아라이 하쿠세키의 급작스러운 격식과 절차 변경 시도 新井白石による突然の贈礼改変
- 조선 외교관의 고충 朝鮮外交官の苦悩
- 조태억 등 관직 삭탈과 문외출송. 역관은 정배, 결정
- 趙泰億らの官職剥奪および門外追放. 訳官は流刑・断罪

문화 예술 교류의 중요성 文化藝術交流の重要性

- 공식적 목적인 국서의 봉정보다도 더 중요
- 公式目的である国書奉呈よりもさらに重要
- 조선은 최고 수준의 기예를 가진 사람들을 파견
- 朝鮮は最高水準の技芸を持つ人々を派遣
- 왜? 막대한 비용과 노력을 들여가면서 교류 지속?
- なぜ? 莫大な費用と努力をかけてまで交流を続けたのか?
- 어려움과 고통이 없었기 때문이 아니라 이를 넘으며 교류를 계속했기에 더욱 소중한 아름다움 것
- 困難や葛藤がなかったからではなく、それを乗り越えて交流を続けたからこそ、より貴重で美しいものとなった

문화와 예술은 경계를 넘는다고? 文化や芸術は本當に境界を越えるのか?

- 문화예술은 가장 자민족중심적(ethnocentric)
- 文化藝術はもともと自民族中心的
- 문화와 예술의 취향(taste)은 오랜 양육의 결과
- 文化や芸術の趣味は長い養育の結果
- 載道論 - 문화예술의 기준과 그 역할에 대한 기대
- 儒教の載道論 - 文化藝術の基準とその役割への期待
- 그러한 어려움에도 불구하고 이루어진 것
- そのような困難にもかかわらず成し遂げられたこと
- 그래서 더욱 소중한 아름다움 것?
- だからこそ、より貴重で美しい?

3. 비공식적, 민간 차원의 연대 3. 非公式的, 民間レベルの連帯

- 민간의 교류와 공감
- 民間の交流と共感
- 서얼, 승려, 초닌 등 주변적 인물
- 庶孽、僧侶、町人など周縁的な人物
- 비공식 접촉 통해 편견 해소·존경 형성
- 非公式な接触を通じて偏見を解消し、尊敬を築く

흥미있는 사례들 興味深い事例

- 우시마도의 가라코오도리
- 牛窓の唐子踊
- 성대중과 키무라 켄카도 등 교토 초닌과의 교류
- 成大中と木村兼葦堂ら京都の町人との交流
- 홍세태와 히토미 지쿠토 필담창화와 초상화
- 洪世泰と人見竹洞：筆談唱和と肖像画の交流
- 신유한과 아메노모리 호슈: 갈등과 교류
- 申維翰と雨森芳洲：葛藤と交流
- 원중거의 사행 후 인식 전환과 조선 실학에 영향
- 元重挙の使行後の認識転換と朝鮮実学への影響

우시마도의 가라코오도리 岡山県瀬戸内市牛窓町の唐子踊

- 통신사가 머물렀던 우시마도 지역 주민들이 발전시킨 축제 춤
- 朝鮮通信使가 11회宿泊した牛窓の住民が発展させた祭りの踊り
- 「가라(唐)」는 당나라가 아닌, 한국을 포함한 외국 전반을 의미
- 「唐」は唐王朝ではなく、韓国を含む外国全般を意味する語
- 통신사 행렬의 소동(小童)들이 주던 춤에서 유래
- 通信使行列に同行した小童が踊った舞に由来
- 장엄하고 화려한 통신사 행렬은 일생일대의 스펙터클
- 壮麗で華麗な通信使行列は一生に一度のスペクタクル
- 당시 일본인들이 접할 수 있던 거의 유일한 외국 문화
- 当時の日本人が接することのできたほぼ唯一の外国文化
- 민중이 외국 문화와의 조우를 기억·수용·재현·찬미
- 民衆の外国文化との出会いを記憶・受容・再現・讚美

가라코오도리 唐子踊



가라코오도리 의의 唐子踊の意義

- 민중 차원의 평화·우호·연대의 상징 民衆レベルの平和・友好・連帯の象徴
- 진승 과정에서 변형되었으나, 민간의 문화 외교 유산으로 자리
- 伝承の過程で変化したが、民間の文化外交遺産として位置づけられる
- 중요무형민속문화재 지정, 보존회 결성.
- 重要無形民俗文化財指定, 保存会結成
- 세토우치 우시마도 국제교류축제, 瀬戸内牛窓国際交流フェスタ(2010년 ~)
- 우시마도 주민, 재일 한국인 단체 및 학교, 부산문화재단, 자매도시 밀양시
- 牛窓の住民, 在日韓国人の団体や学校, 釜山文化財団, 姉妹都市の密陽市も参加
- 진후 문화교류 외교가 민중 생활 속 축제 형태로 기억·재창조
- 戦後の文化交流外交が民衆生活の中で祭りの形として記憶・再創造されている
- 미에현 쓰시 분배초, 스즈카시 히가시타마기키초에서도
- 三重県津市分部町、鈴鹿市東玉垣町にも

蒹葭堂雅集圖

木村蒹葭堂·1736-1802)筆. 蒹葭堂會會員8人の題跋
(國立中央博物館所藏)

1763 癸未使行. 1763年癸未の通信使行. 正使の書記であつた成大中(1732-1809)が木村蒹葭堂に制作を依頼し、贈り物として受け取る

https://www.museum.go.kr/files/zin/curator_228_1.jpg



洪世燾(1653~1725) 人眞雜山 畫?
滋賀県高月観音の里歴史民俗資料館所蔵。1883年、安積長斎(あさか ござんさい)がかつての肖像画を入手して模写した。洪世燾の肖像画は1682年のもの(出典 Oh My News 李鍾憲 - 瀟浪 洪世燾 肖像画)



비공식적 민간 교류의 의미 非公式な民間交流の意義

- 국경 넘어서는 인간적 유대의 싹
- 国境を越える人的絆の芽生え
- 통신사 횡수의 제한과 재정 부담
- 通信使 回数 の制限と財政的負担
- 결국은 재정을 이유로 역시빙례. 이후 중단
- 最終的には財政を理由に易地聘礼となり、その後中断
- 더 확대되지 못한 아쉬움
- さらに拡大できなかったことへの惜しさ

4. 유네스코 유산 제도에서의 시사점 4. 그 너스코 遺産制度への示唆

- 가장 유네스코다운 기록물
- 最もユネスコらしい記録物
- 현행 유산 제도의 한계로 등재 어려운 것들
- 現行遺産制度の限界によって登録が困難なもの
- 유산의 유형 무형 분류와 범주 문제
- 遺産の三つのカテゴリーと分類
- 등재 기준의 문제
- 登録基準の課題
 - world significance, outstanding universal value
 - authentic, original, irreplaceable, with demonstrated historic, aesthetic, or community significance
- 조선통신사 사례 - 미래의 새로운 방향 제시 기대
- 朝鮮通信使の事例 - 未来への新たな方向性の提示を期待

새로운 제도 개선 필요 新たな制度改善の必要性

- 시대에 뒤떨어진 낡은 무형유산과 유형유산 구분
- 無形遺産と有形遺産など時代遅れで廃れた区分
- 새로운 범주로서 종합유산(?)의 필요성
- 新たなカテゴリーとして総合遺産(?)の必要性
- 다양한 유산들을 포괄할 수 있었으면...
- 多様な遺産を包括できれば...
- 대량 복제 기술 등 디지털 시대 변화 수용해야
- 大量複製技術などデジタル時代の変化を受け入れられるべき

• 발제 発題

BUSAN CULTURAL FOUNDATION

세계가 기억하는 평화와 연대

조선통신사선 재현과 261년만의 오사가 입항

世界が記憶する平和と連帯

朝鮮通信使船の再現と、261年ぶりの大阪入港

홍순재

(국립해양유산연구소 학예연구사)

ホン・スンジェ

(国立海洋遺産研究所 学芸研究士)

강원춘

(국립해양유산연구소 학예연구사)

カン・ウオンチュン

(国立海洋遺産研究所 学芸研究士)



Profile

국립해양유산연구소 학예연구사
国立海洋遺産研究所 学芸研究士



Profile

국립해양유산연구소 학예연구사
国立海洋遺産研究所 学芸研究士

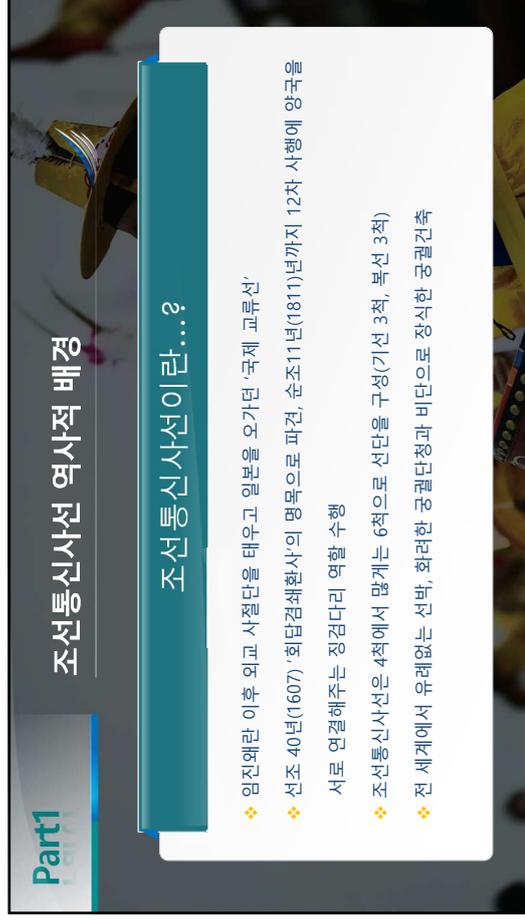
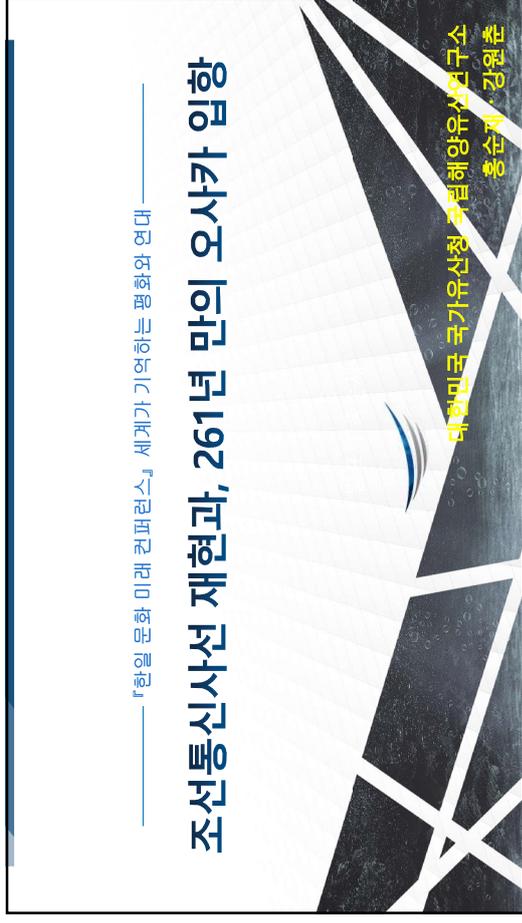


문화체육관광부
Ministry of Culture, Sports and Tourism



부산문화재단
BUSAN MUSEUM FOUNDATION

협력協力: BankART 1929



Part 2 조선통신사선 재현과 활용

조선통신사선 재현과 활용

조선통신사선 심층연구

- 기초자료조사·복원설계·3D모델링·조선공학적 분석
- 설계 28회 수정, 소나무(대경재) 900그루 확보 및 건조
- 모형제작실험 1/30, 실물 재현 성공

전장 34m, 신폭 9.3m, 149톤

Part 2 조선통신사선 재현과 활용(국내외기관 교류협력)

MOU 협약 체결

(국내) 조선통신사선 역사문화자원 활용방안

- '16.7. 연구소·국립해양박물관·(재)부산문화재단
- '25.3. 연구소·(재)부산문화재단·범어사성보박물관

(국외) 조선통신사선, 한·일 문화교류 벨트 실현

- '19.7. 연구소·(재)부산문화재단·일본 쓰시마시
- '23.6. 연구소·(재)부산문화재단·일본 쓰시마시·이즈하라정축제진흥회
- '24.7. 연구소·(재)부산문화재단·일본 시모노키시
- '25.4. 연구소·(재)부산문화재단·일본 조선통신사연지연락협의회

Part 2 조선통신사선 재현과 활용

조선통신사선 역사문화자원 활용
고객 만족도 조사 **95% 이상 만족**

대국민 체험서비스

- (연구소) 선상박물관 문화기행
- (부산) 조선통신사 축제, 배길탐방 배타리까지 운영
- (여수) 대만민주 글로벌 미래교육리틀비
- (목포) 목포항구축제

국내 147회 진행, 6,173명 참여

일본 3회 진행, 8,620명 참여

K-해양유산 체험

- (23년) 목포 → 부산 → 쓰시마
- (24년) 목포 → 부산 → 쓰시마 → 이키 → 아이노시마 → 시모노세키
- (25년) 목포 → 부산 → 쓰시마 → 이키 → 시모노세키 → 키미노세키 → 쿠레 → 후쿠야마 → 세토우치 → 탄젠 → 오사카

Part 2 조선통신사선 재현과 활용(실증 항해)

서해, 영호남 항로 탐사

- 서해항로: 신안·가거도(21)~군산·신유도(22)~태안·신진도(23)/1,439km
- 영호남 항로: 목포~부산(19~25)/7,250km

조선통신사선 운항능력 시험, 항해 안전성 확보

고려시대 서해 항로 탐사

영호남 항로 탐사

8,689km 항해

Part 2

조선통신사신 재현과 활용(한·일 배길 재현)

4,913km 항해

Part 3

K-해양유산 향유기회 제공(한일 문화교류 배길 재현)

'23년 조선통신사신 쓰시마 입항

쓰시마 선상박물관 운영

Part 3

K-해양유산 향유기회 제공(한일 문화교류 배길 재현)

'24년 조선통신사신 이끼시 입항

이끼시 선상박물관 운영

Part 3

K-해양유산 향유기회 제공(한일 문화교류 배길 재현)

'24년 아이노시마 유적지 답사

아이노시마 선상박물관 운영

Part 3 K-해양유산 항유기회 제공(한일 문화교류 배길 재현)

'24년 조선통신사선 부산-시모노세키 배길 재현

시모노세키 학술대회 및 선상박물관 운영

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

'25년 조선통신사선 부산-오사카 배길 재현(25. 4. 28. ~5. 27(30일)/8명)

[261년 만의 오사카 입항, 10년 연구로 평화의 배길 입증]

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(쿠레시) 문화교류

일본 내 기착지(후쿠야마시) 문화교류

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(티즈노시) 문화교류

일본 내 기착지(오사카시) 문화교류

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

오사카 문화교류(성상박물관 운영)

한일 수교 60주년 '한국의 날' 기념행사

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

일본 내 기착지(세토우치시) 문화교류

일본 내 기착지(시모노세키시) 문화교류

Part 3 조선통신사선 오사카 입항 의미

'22~'24년 언론 홍보 (국내외 500건)

• KBS, '24. 7. 31.
• KNEWS, '24. 8. 16.
• KNN, '24. 8. 24.
• KRYNEWS, '24. 8. 22.

'25년 언론 홍보 (국내외 212건)

• ABC News, '25. 5. 13.
• NHK WORLD, '25. 6. 20.
• Anirang TV, '25. 5. 13.

Part 4 조선통신사선 오사카 입항 의미

Anirang TV, '25. 7. 16.
[Anirang Special] Joseon Tongshinseon Sailing Toward Tomorrow

• 주요내용: 조선통신사 항회의 예정, 유산을 오늘날 다시 복원하고 있다

朝日新聞 '25. 8. 28.
[아시아신문 기획기사] 조선통신사에 가는 길 ④
"300년 전의 여정을 따라 강을 거슬러 오른다."

通商船は、武力によらず話し合いで解決してきたから、平和な時を築けた。世評中で??主業、排兵主義が響き渡るなか、運賃値上げの懸念も日韓だけでなく、世界のみなさんにも?えたい

Part 4

조선통신사선 오사카 입항 의미

10년의 결실로 얻어낸 1,250km 항해의 의미

- ❖ 1763년 제11차 사행 이후 단절, 조선통신사의 뱃길을 261년 만에 재현
- ❖ 12차례 평화외교의 여정 복원, 동아시아 외교사의 상징적 사건으로 평가
- ❖ 조선통신사의 평화외교적 성격을 현대적으로 재해석
- ❖ 한일 양국이 미래 지향적 협력 관계를 모색할 수 있는 토대 마련
- ❖ 일본 세토나해 항해로 전통 선박 구조와 항해술 입증
- ❖ 동아시아 해양 교류 전통의 부활 상징
- ❖ 오사카 국제 박람회, 세계적 행사에 한국 해양유산 국제적 위상 고양, 문화외교적 성과 확대
- ❖ 과거의 평화정신 현대 문화정신 메시지로 재해석, 미래 세대 공유 및 역사교육의 장 마련

Part 5

향후 계획

미래, 조선통신사선 역사문화자원 활용 계획

- ❖ '26년 제48차 유네스코 세계유산회의 개최에 맞춘 'K-해양유산, 조선통신사선' 가치 확산
 - (국외) 일본 나가사키 범선대회 참가(4월 말)
 - (국내) 부산 WHC 연계(7월) 환영행사·승선체험·선상전시·선상 문화 공연 등을 통한 K-해양유산 국제 홍보
- ❖ '조선통신사선과 함께하는 해양유산' 체험 프로그램 확대 운영
 - 청소년·일반시민 대상 체험(승선·선상박물관 관람·해양문화 해설 등) 상시화 추진



